

2. 指導システム

- ① 兵庫県公立入試分析 2025
- ② 夏期&受験講習スケジュール
- ③ オンラインだからできる講習形式

事務長 神吉里恵

[11:00~11:15]

① 兵庫県公立入試分析

2025

兵庫県入試 過去5年平均点

文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

兵庫県入試 過去5年平均点

文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

(令和7年度)

0～19点

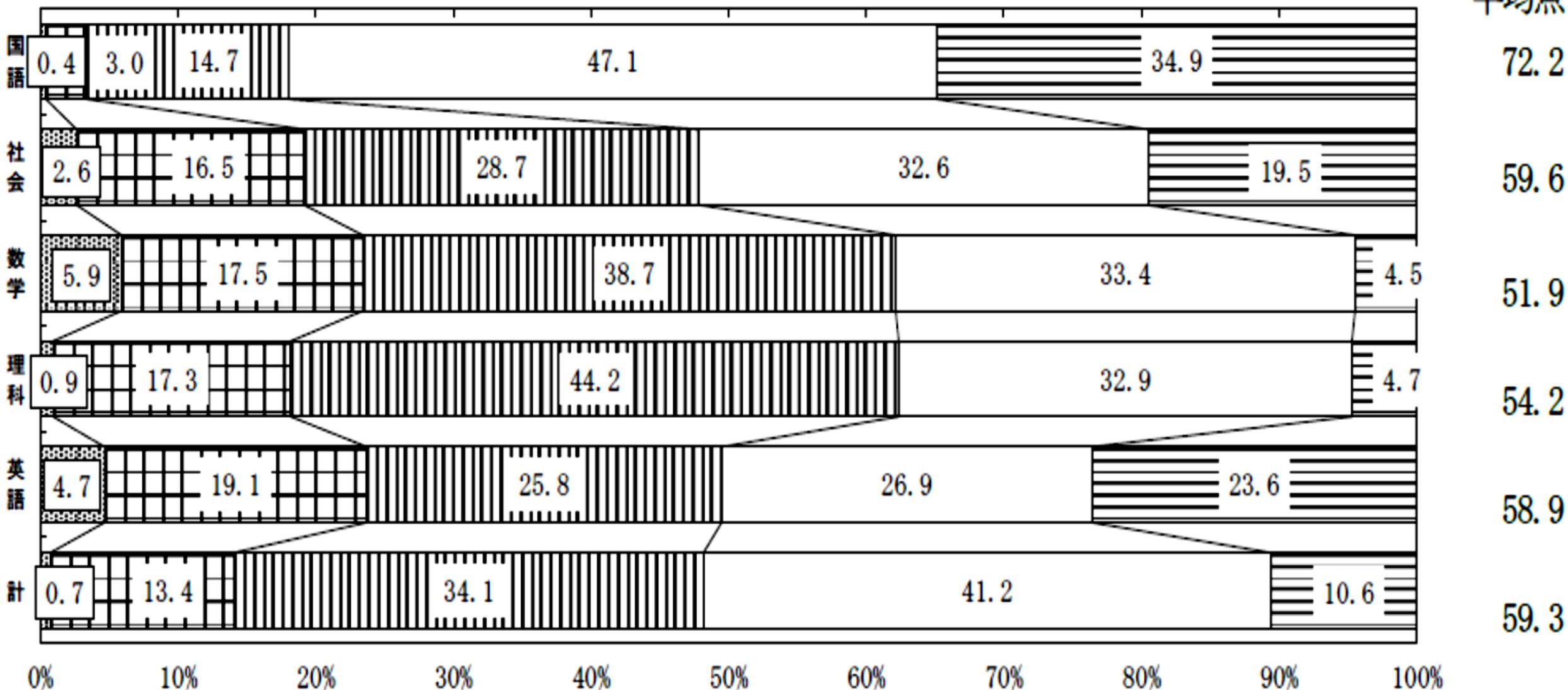
20～39点

40～59点

60～79点

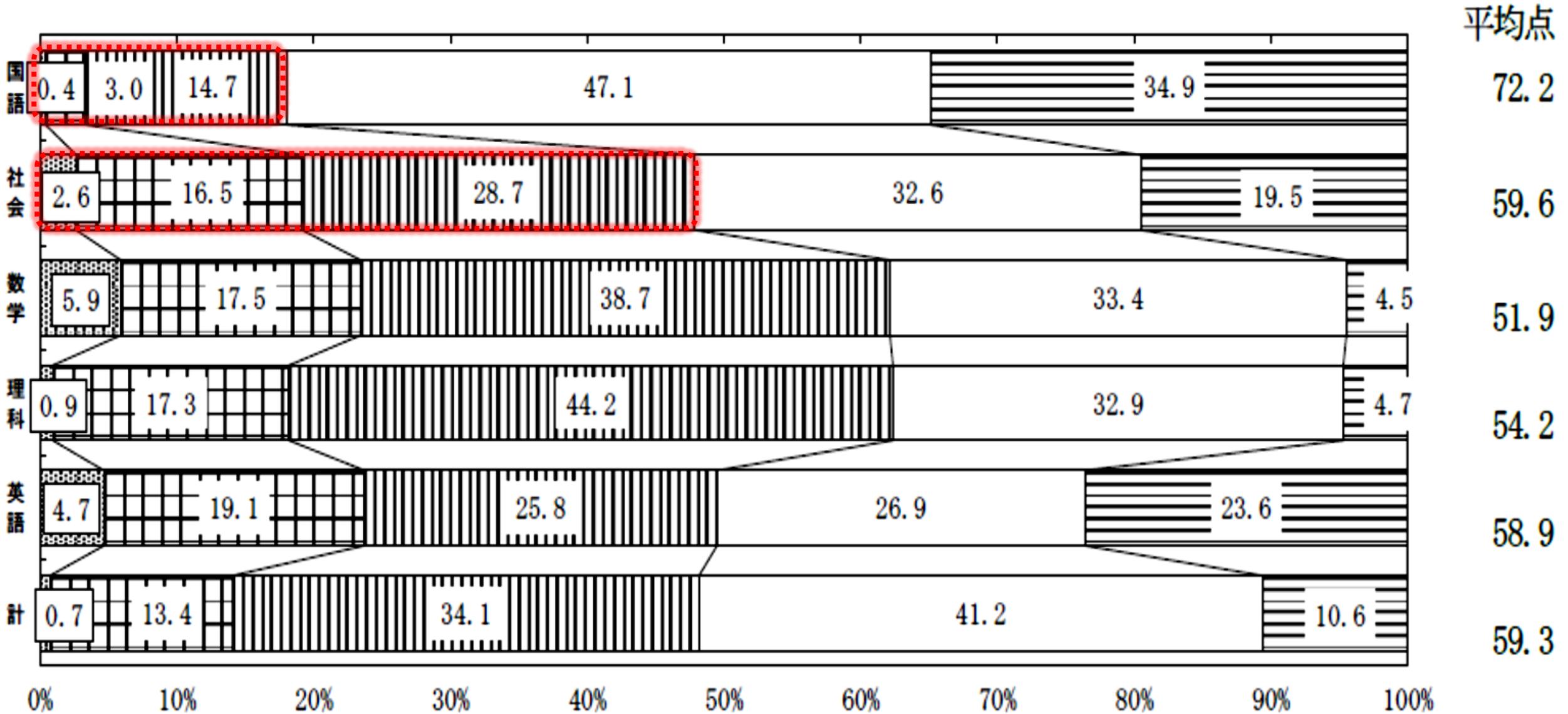
80～100点

平均点



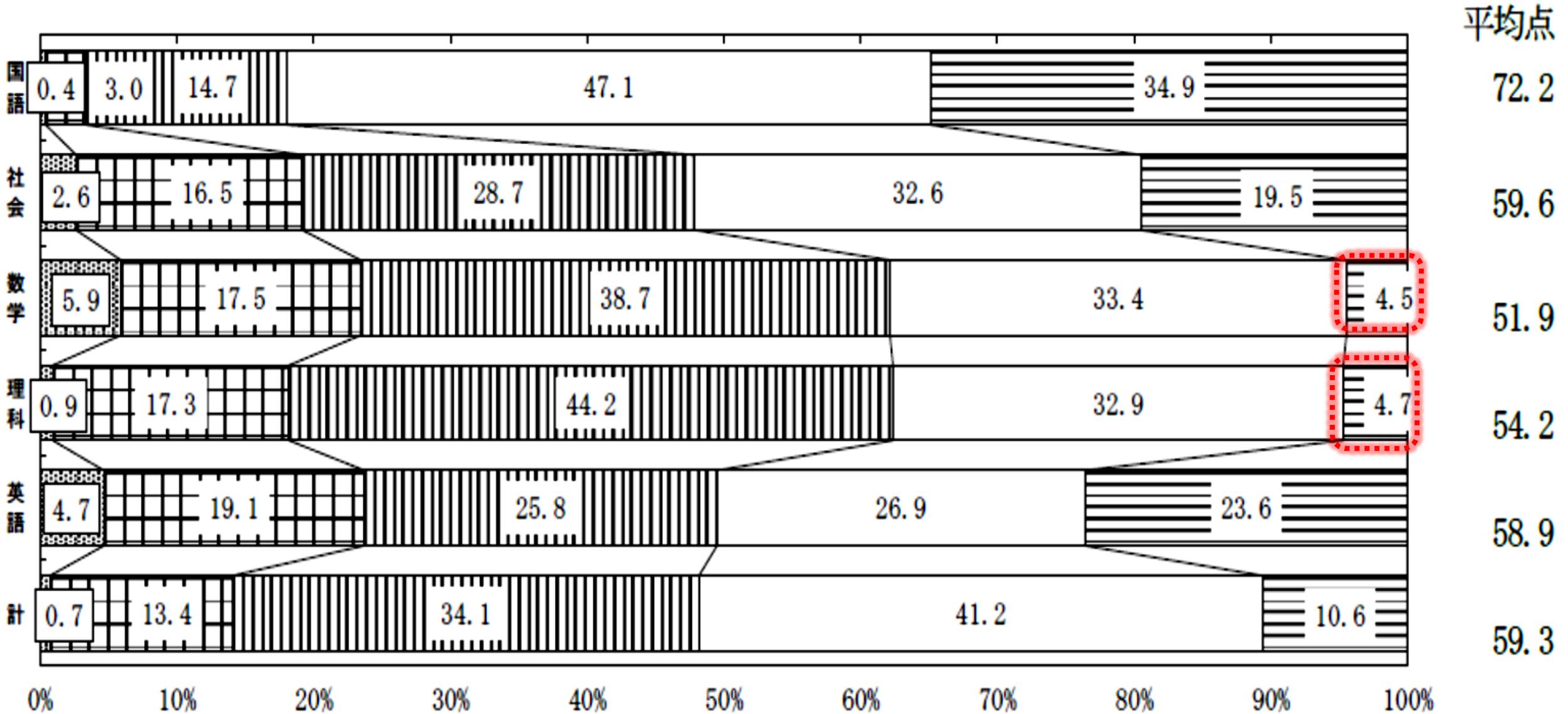
(令和7年度)

〔考察〕 国語・社会 →60点未満は、半数以下！



(令和7年度)

〔考察〕 数学・理科 →80点以上は、5%未満！



数学

兵庫県入試 過去5年平均点

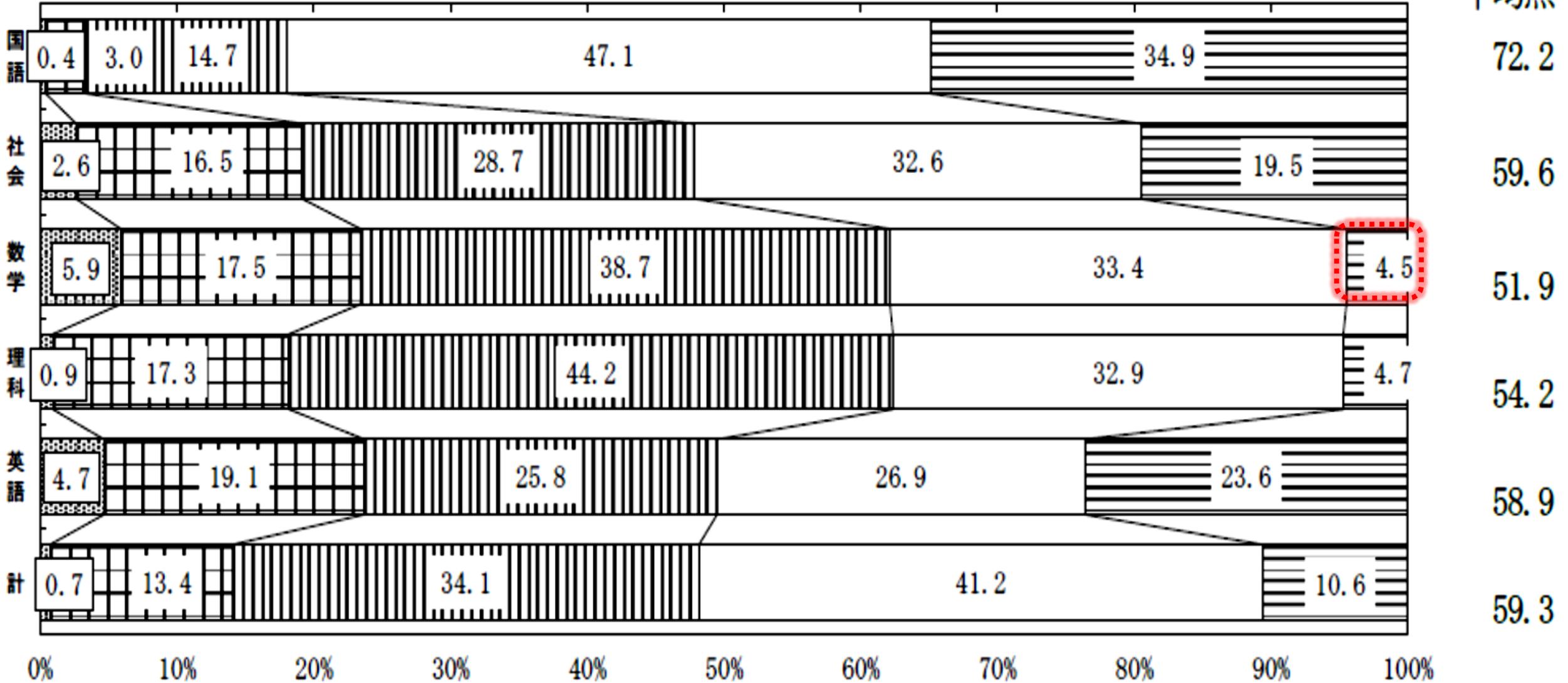
文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

(令和7年度)

80点以上 → 5%未満!

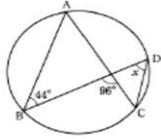
平均点



注意 全ての問いについて、答えに $\sqrt{\quad}$ がふくまれる場合は、 $\sqrt{\quad}$ を用いたままで答えなさい。

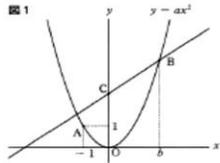
1 次の問いに答えなさい。

- (1) $(-3) \times (-4)$ を計算しなさい。
- (2) $-8x^2y^3 + 2xy^3$ を計算しなさい。
- (3) $4\sqrt{2} - \sqrt{18}$ を計算しなさい。
- (4) $4x^2 - 4x + 1$ を因数分解しなさい。
- (5) 反比例 $y = \frac{3}{x}$ のグラフ上の点で、 x 座標と y 座標がともに整数となる点は何個あるか、求めなさい。
- (6) 半径2cmの球の体積は何 cm^3 か、求めなさい。ただし、円周率は π とする。
- (7) 図のように、円の周上に4点A、B、C、Dがある。 $\angle x$ の大きさは何度か、求めなさい。

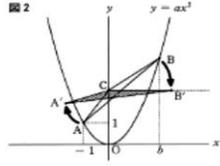


- (8) 袋の中に、白玉と黒玉が合わせて400個入っている。この袋の中をよくかき混ぜ、20個の玉を取り出したところ、白玉が6個であった。この結果から、袋の中の白玉は、およそ何個と推定されるか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア およそ100個 イ およそ120個 ウ およそ140個 エ およそ160個

3 図1のように、関数 $y = ax^2$ のグラフ上に2点A、Bがあり、点Aの座標は $(-1, 1)$ 、点Bの x 座標は a である。関数 $y = ax^2$ について、 x の変域が $-1 \leq x \leq a$ のとき、 y の変域が $0 \leq y \leq 4$ である。また、点Bを通り、傾きが $\frac{3}{4}$ の直線と、 y 軸との交点をCとする。



- 次の問いに答えなさい。ただし、座標軸の単位の長さは1cmとする。
- (1) a の値を求めなさい。
 - (2) b の値を求めなさい。
 - (3) 直線ABの式を求めなさい。
 - (4) $\triangle ABC$ の面積は何 cm^2 か、求めなさい。



- 図2のように、点Cを回転の中心として、時計まわりに $\triangle ABC$ を、辺BCが x 軸と平行になるように回転移動させる。このとき、点A、点Bが移動した点をそれぞれ A' 、 B' とする。点 A' の y 座標を求めなさい。ただし、点 B' の x 座標は正の数とする。

4 100個の玉と1つの空の箱があり、次のようにして、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人に玉を分ける。

- 【作業1】
 ・玉をAさんに18個、Bさんに14個渡す。Cさんに渡す玉の個数は、Bさんに渡す玉の個数より少なく、Cさんに渡す個数の3倍の個数の玉をDさんに渡す。
- 【作業2】
 ・空の箱に、【作業1】で残った玉を入れる。
- 【作業3】
 ・箱から玉を4個取り出し、4人に1個ずつ渡す。

まず、【作業1】、【作業2】を行い、その後、【作業3】を何回か繰り返して行っていくと、箱の中の玉がちょうど0個になり、100個の玉を4人に分けることができた。ただし、【作業3】を始めから玉を箱に戻すことはない。次の問いに答えなさい。

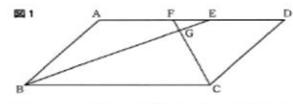
- (1) 玉の個数について、次のように考えた。 $\square i$ 、 $\square ii$ にあてはまる式、 $\square iv$ にあてはまる自然数をそれぞれ求めなさい。また、あとのア～エのうち、 $\square iii$ にあてはまることばとして適切なものを1つ選んで、その符号を書きなさい。

【作業1】でCさんに玉を y 個渡したとき、【作業1】で4人に渡した玉の合計は x を用いて、 $\square i$ 個と表すことができる。
 また、【作業3】を y 回行ったとき、箱の中の玉がちょうど0個になったとすると、【作業2】で箱に入れた玉は y を用いて、 $\square ii$ 個と表すことができる。
 玉は全部で100個なので、 $\square i + \square ii = 100$
 等式の性質を使ってこの等式を变形すると、箱の中の玉がちょうど0個になったとき、 $\square iii$ は $\square iv$ 個だとわかる。

- ア AさんとDさんが持っている玉の合計
 イ BさんとCさんが持っている玉の合計
 ウ Aさんが持っている玉
 エ Cさんが持っている玉

- (2) 箱の中の玉がちょうど0個になったとき、BさんとDさんが持っている玉の合計は54個であった。この場合、箱の中の玉がちょうど0個になったとき、Dさんが持っている玉は何個か、求めなさい。

5 図1のように、 $\angle ABC$ が鋭角、 $AB = 3\text{cm}$ 、辺BCを底辺としたときの高さが $\sqrt{5}\text{cm}$ の平行四辺形ABCDがあり、 $\angle ABE = \angle CBE$ 、 $\angle BCF = \angle DCF$ となるように、辺AD上に2点E、Fをとると、線分BEと線分CFは点Gで交わり、 $EF = 1\text{cm}$ となった。

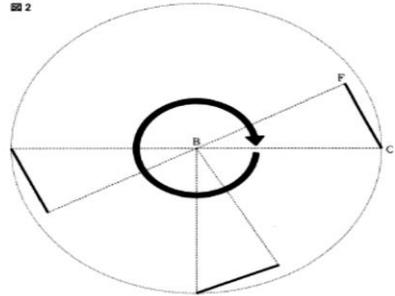


- 次の問いに答えなさい。
- (1) $\triangle BCG \sim \triangle EFG$ を次のように証明した。 $\square i$ 、 $\square ii$ にあてはまるものを、あとのア～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書き、この証明を完成させなさい。

<証明>
 $\triangle BCG \sim \triangle EFG$ において、
 $\square i$ は等しいから、 $\angle BGC = \angle EGF$ ……①
 平行線の錯角は等しいので、 $AD \parallel BC$ から、 $\angle CBG = \angle \square ii$ ……②
 ①、②より、2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle BCG \sim \triangle EFG$

- ア 中心角 イ 対頂角 ウ 対頂角
 エ EFG オ BEG カ GED

- (2) 線分AFの長さは何cmか、求めなさい。
 (3) 線分FGの長さは何cmか、求めなさい。
 (4) 図2のように、点Bを回転の中心として、時計まわりに $\triangle BCF$ を回転させ、線分CFが通過した部分を塗りつぶしていく。1回転したとき、塗りつぶされた部分の面積は何 cm^2 か、求めなさい。ただし、円周率は π とする。



6 花粉の飛散数の測定方法の1つに「ゲーラム法」という方法がある。あとの問いに答えなさい。

- 【ゲーラム法】
 花粉の飛散数の測定方法の1つであり、次の(1)～(V)の手順で求める。
- (1) 花粉が付着しやすいようにワセリンを塗ったスライドガラスを風外に1日置いて、花粉を採取する。
 - (2) 回収したスライドガラス上の花粉を染色する。
 - (3) スライドガラスに、面積が 3.24cm^2 のカバーガラスをかけ、プレパラートをつくる。
 - (IV) プレパラートを顕微鏡で観察し、カバーガラスの下にある花粉の数を数える。
 - (V) (IV)の値から、 1cm^2 あたりの花粉の数を小数第1位まで求め、これを花粉の飛散数とし、単位は、個/ cm^3 とする。ただし、小数第1位までで割り切れない場合は、小数第2位を四捨五入する。

求めた花粉の飛散数をもとに、ランクに分ける。

ランク	花粉の飛散数 (個/ cm^3)
少ない	10.0未満
やや多い	10.0以上30.0未満
多い	30.0以上50.0未満
非常に多い	50.0以上100.0未満
極めて多い	100.0以上

例えば、 3.24cm^2 のカバーガラスの下に、102個の花粉があった場合、花粉の飛散数は50.0個/ cm^3 、ランクは「非常に多い」である。

- (1) ある日、 3.24cm^2 のカバーガラスの下には81個の花粉があった。この日のランクとして適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 少ない イ やや多い ウ 多い エ 非常に多い オ 極めて多い

(2) 表1は、ある年の4月1日から3日の花粉の飛散数についてのデータである。この年の4月は飛散数が50.0個/ cm^3 以上の日が多かったため、表1は基準を50.0個/ cm^3 として作成され、4月1日から3日について、その日の飛散数から、基準とした50.0個/ cm^3 をひいた値を示している。

4月	1日	2日	3日
基準との差 (個/ cm^3)	$-a^2$	a	$a + 2.5$

- 次のア、イは表1の a の値と、それぞれの日の飛散数やランクについてのことからである。正しくないものを次のア、イから1つ選んで、その符号を書きなさい。また、正しくないことを示す反例となる整数 a の値を1つあげなさい。
- ア 表1の a が -4 以上 4 以下の整数ならば、4月1日のランクは「多い」である。
 イ 表1の a が -4 以上 4 以下の整数ならば、4月2日の飛散数は4月3日の飛散数より少ない。

(3) はるかさんは、ある年の3月について、日々花粉の飛散数をWebページで調べた。そのデータをもとに、各週の月曜日から金曜日の5日間の飛散数の平均値を求め、週ごとの飛散数の変化のようすを見ることにした。基準を30.0個/ cm^3 として表2、3を作成し、これらの表から平均値を求めた。表2は第2週の5日について、表3は第3週の5日について、その日の飛散数から、基準とした30.0個/ cm^3 をひいた値を示している。

表2

第2週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
基準との差 (個/ cm^3)	-1.0	3.0	-1.0	-5.0	4.0

表3

第3週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
基準との差 (個/ cm^3)	$-2x^2 + 6$	$-4x + 5$	11.0	$x + 13$	7.0

- ① 表2の5日間の飛散数の平均値は何個/ cm^3 か、求めなさい。
 ② 表2と表3を合わせた10日の飛散数の平均値はちょうど34.0個/ cm^3 であった。また、表3の5日のランクはすべて「多い」であり、表3の5日の中で、飛散数と同じである日の組み合わせはなかった。表3の x の値を求めなさい。
- また、はるかさんは平均値を求めた過程を振り返り、平均値を効率的に求める方法について、次のように考察した。 $\square i$ 、 $\square ii$ にあてはまる数をそれぞれ求めなさい。

【平均値の求め方】
 ・第3週の5日のランクはすべて「多い」であったから、基準を40.0個/ cm^3 として、平均値を求めることもできる。基準を40.0個/ cm^3 として、表3と同様にして第3週について新たな表を作成すると、「基準との差」の5つの数の中で最大の値は $\square i$ で、「基準との差」の5つの数の和は $\square ii$ である。
 ・ $\square ii$ の絶対値と、表3の「基準との差」の5つの数の和の絶対値を比較すると、 $\square ii$ の絶対値の方が小さいので、第3週の平均値を求めるときは、基準を40.0個/ cm^3 として求める方が効率的だと考える。

平均 51.9点

問題番号	素材の構成	小問番号	内容	得点率%
1	正負の数の計算	(1)	負の数の計算	98.3
	単項式の計算	(2)	単項式の除法	96.1
	平方根の計算	(3)	平方根の計算	95.3
	因数分解	(4)	因数分解	56.5
	反比例	(5)	グラフ上の格子点の個数	33.9
	立体の体積	(6)	球の体積	62.0
	角の大きさ	(7)	円周角, 三角形の外角	80.0
	標本調査	(8)	標本からの推定	93.1
2	数と式, 確率	(1)	6番目の数	85.2
		(2)①	6番目の数	55.1
		(2)②	11になる確率	74.8
		(2)③	10の倍数になる確率	41.7
		(2)④	5の倍数にならない確率	20.5
3	関数	(1)	比例定数aの値	86.2
		(2)	条件を満たす点の座標	79.0
		(3)	直線の式	58.4
		(4)	三角形の面積	36.1
		(5)	回転移動後のy座標	1.6

4	連立方程式	(1) i	玉の個数	66.4
		(1) ii	玉の個数	53.6
		(1) iii	式が表す数量の関係	51.8
		(1) iv	式が表す数量の関係	21.3
		(2)	玉の個数	5.4
5	平面図形	(1) i	平面図形の性質	90.9
		(1) ii	平行線の性質	91.1
		(2)	線分の長さ	66.4
		(3)	線分の長さ	15.1
6	総合的な課題	(4)	回転してできる面積	0.2
		(1)	ランク分け	75.8
		(2)	命題の真偽, 反例	17.5
		(3)①	平均値	57.5
		(3)②	xの値	2.4
(3)② i ii	基準を変えた場合の数値	0.5		

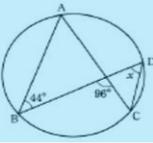
マッピング

正答率より、問題レベルを区分します

正答率 (%)		色
66.7 ~ 100	3名に2人以上が解けた	
33.4 ~ 66.6	3名に1人以上が解けた	
0 ~ 33.3	3名に1人も解けなかった	
回避問題	時間がかかり過ぎる	

注意 全ての問について、答えに $\sqrt{\quad}$ がふくまれる場合は、 $\sqrt{\quad}$ を用いたままで答えなさい。

- 1 次の問に答えなさい。
- 98.3 (1) $(-3) \times (-4)$ を計算しなさい。
- 96.1 (2) $-8x^2y^3 + 2xy^3$ を計算しなさい。
- 95.3 (3) $4\sqrt{2} - \sqrt{18}$ を計算しなさい。
- 56.5 (4) $4x^2 - 4x + 1$ を因数分解しなさい。
- 33.9 (5) 反比例 $y = \frac{3}{x}$ のグラフ上の点で、 x 座標と y 座標がともに整数となる点は何個あるか、求めなさい。
- 62.0 (6) 半径2cmの球の体積は何 cm^3 か、求めなさい。ただし、円周率は π とする。
- (7) 図のように、円の周上に4点A、B、C、Dがある。 $\angle x$ の大きさは何度か、求めなさい。
- 80.0
- 93.1 (8) 袋の中に、白玉と黒玉が合わせて400個入っている。この袋の中をよくかき混ぜ、20個の玉を取り出したところ、白玉が6個であった。この結果から、袋の中の白玉は、およそ何個と推定されるか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア およそ100個 イ およそ120個 ウ およそ140個 エ およそ160個



3 図1のように、関数 $y = ax^2$ のグラフ上に2点A、Bがあり、点Aの座標は $(-1, 1)$ 、点Bの x 座標は a である。関数 $y = ax^2$ について、 x の変域が $-1 \leq x \leq a$ のとき、 y の変域が $0 \leq y \leq 4$ である。また、点Bを通り、傾きが $\frac{3}{4}$ の直線と、 y 軸との交点をCとする。

次の問に答えなさい。ただし、座標軸の単位の長さは 1cm とする。

(1) a の値を求めなさい。

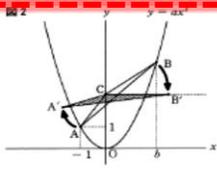
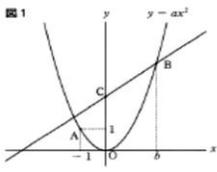
(2) a の値を求めなさい。

(3) 直線ABの式を求めなさい。

(4) $\triangle ABC$ の面積は何 cm^2 か、求めなさい。

(5) 図2のように、点Cを回転の中心として、時計まわりに $\triangle ABC$ を、辺BCが x 軸と平行になるように回転移動させる。このとき、点A、点Bが移動した点をそれぞれA'、B'とする。点A'の y 座標を求めなさい。ただし、点B'の x 座標は正の数とする。

86.2
79.0
58.4
36.1
1.6



5 図1のように、 $\angle ABC$ が鋭角、 $AB = 3\text{cm}$ 、辺BCを底辺としたときの高さが $\sqrt{5}\text{cm}$ の平行四辺形ABCDがあり、 $\angle ABE = \angle CBE$ 、 $\angle BCF = \angle DCF$ となるように、辺AD上に2点E、Fをとると、線分BEと線分CFは点Gで交わり、 $EF = 1\text{cm}$ となった。

次の問に答えなさい。

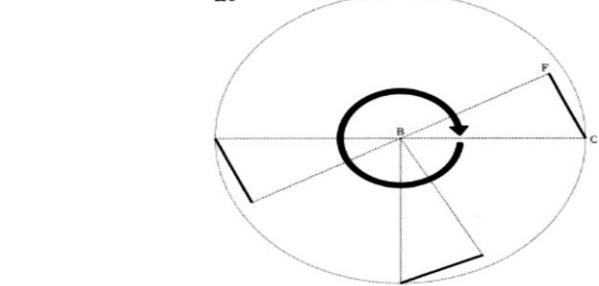
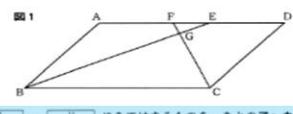
(1) $\triangle BCG \sim \triangle EFG$ を次のように証明した。 \square i、 \square ii にあてはまるものを、あとのア～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書き、この証明を完成させなさい。

<証明>
 $\triangle BCG \sim \triangle EFG$ において、
 \square i は等しいから、 $\angle BGC = \angle EGF$ ……①
 平行線の錯角は等しいので、 $\angle ADB \parallel BC$ から、 $\angle CBG = \angle$ \square ii ……②
 ①、②より、2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle BCG \sim \triangle EFG$

ア 中心角 イ 同位角 ウ 対頂角
 オ EFG カ FEG キ GED

66.4
15.1
0.2

線分AFの長さは何 cm か、求めなさい。
 線分FGの長さは何 cm か、求めなさい。
 図2のように、点Cを回転の中心として、時計まわりに $\triangle ABC$ を、辺BCが x 軸と平行になるように回転移動させる。このとき、点A、点Bが移動した点をそれぞれA'、B'とする。点A'の y 座標を求めなさい。ただし、点B'の x 座標は正の数とする。



2 次の「規則」にしたがって、1番目の数と2番目の数を定めて、3番目から8番目までの数を順に求める。あとの問に答えなさい。

【規則】

- 1番目の数と2番目の数を、自然数から自由に定める。
- 3番目以降の数は、その2つ前の数と1つ前の数の和とする。

例えば、1番目の数が1、2番目の数が2のとき、数を順に求めると、表のようになる。

1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目	8番目
1	2	3	5	8	13	21	34

- 85.2 (1) 1番目の数が2、2番目の数が1のとき、6番目の数を求めなさい。
- (2) 大小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数を1番目の数、小さいさいころの出た目の数を2番目の数とする。
- ただし、さいころの1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいとする。
- ① 大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b として、6番目の数を a, b を用いて表しなさい。
- ② 3番目の数が11になる確率を求めなさい。
- ③ 1番目から3番目までの3つの数の和が10の倍数になる確率を求めなさい。
- ④ 8番目の数から7番目の数をひいた値が5の倍数にならない確率を求めなさい。
- 55.1
74.8
41.7
20.5

4 100個の玉と1つの空の箱があり、次のようにして、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人に玉を分ける。

【作業1】

- 玉をAさんに18個、Bさんに14個渡す。Cさんに渡す玉の個数は、Bさんに渡す玉の個数より少なく、Cさんに渡す個数の3倍の個数の玉をDさんに渡す。

【作業2】

- 空の箱に、【作業1】で残った玉を入れる。

【作業3】

- 箱から玉を4個取り出し、4人に1個ずつ渡す。

まず、【作業1】、【作業2】を行い、その後、【作業3】を何回か繰り返して行っていくと、箱の中の玉がちょうど0個になり、100個の玉を4人に分けることができた。ただし、【作業3】を始めから玉を箱に戻すことはない。次の問に答えなさい。

(1) 玉の個数について、次のように考えた。 \square i、 \square ii にあてはまる式、 \square iv にあてはまる自然数をそれぞれ求めなさい。また、あとのア～エのうち、 \square iii にあてはまることばとして適切なものを1つ選んで、その符号を書きなさい。

【作業1】でCさんに玉を y 個渡したとすると、【作業1】で4人に渡した玉の合計は x を用いて、 \square i と表すことができる。

また、【作業3】を y 回行ったときに、箱の中の玉がちょうど0個になったとすると、【作業2】で箱に入れた玉は y を用いて、 \square ii と表すことができる。

玉は全部で100個なので、 \square i + \square ii = 100

等式の性質を使ってこの等式を变形すると、

箱の中の玉がちょうど0個になったとき、 \square iii は \square iv 個だと21:3

ア AさんとDさんが持っている玉の合計
 イ BさんとCさんが持っている玉の合計
 ウ Aさんが持っている玉
 エ Cさんが持っている玉

5.4 箱の中の玉がちょうど0個になったとき、BさんとDさんが持っている玉の合計は54個であった。この場合、箱の中の玉がちょうど0個になったとき、Dさんが持っている玉は何個か、求めなさい。

6 花粉の飛散数の測定方法の1つに「ゲラム法」という方法がある。あとの問に答えなさい。

【ゲラム法】

花粉の飛散数の測定方法の1つであり、次の(1)～(V)の手順で求める。

- 花粉が付着しやすいようにワセリンを塗ったスライドガラスを屋外に1日置いて、花粉を採取する。
- 回収したスライドガラス上の花粉を染色する。
- スライドガラスに、面積が 3.24cm^2 のカバーガラスをかけ、プレパラートをつくる。
- プレパラートを顕微鏡で観察し、カバーガラスの下にある花粉の数を数える。
- (IV)の値から、 1cm^2 あたりの花粉の数を小数第1位まで求め、これを花粉の飛散数とし、単位は、個/ cm^2 とする。ただし、小数第1位までで割り切れない場合は、小数第2位を四捨五入する。

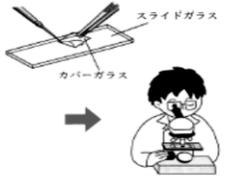
求めた花粉の飛散数をもとに、ランクに分ける。

ランク	花粉の飛散数 (個/ cm^2)
少ない	10.0未満
やや多い	10.0以上30.0未満
多い	30.0以上50.0未満
非常に多い	50.0以上100.0未満
極めて多い	100.0以上

例えば、 3.24cm^2 のカバーガラスの下に、102個の花粉があった場合、花粉の飛散数は 50.0 個/ cm^2 、ランクは「非常に多い」である。

(1) ある日、 3.24cm^2 のカバーガラスの下には81個の花粉があった。この日のランクとして適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 少ない イ やや多い ウ 多い エ 非常に多い オ 極めて多い



(2) 表1は、ある年の4月1日から3日の花粉の飛散数についてのデータである。この年の4月1日飛散数が 50.0 個/ cm^2 以上の日が多かったため、表1は基準を 50.0 個/ cm^2 として作成され、4月1日から3日について、その日の飛散数から、基準とした 50.0 個/ cm^2 をひいた値を示している。

次のア、イは表1の a の値と、それぞれの日の飛散数やランクについてのことからである。正しいものを次のア、イから1つ選んで、その符号を書きなさい。また、正しいことを示す反例となる整数 a の値を1つあげなさい。

ア 表1の a が -4 以上 4 以下の整数ならば、4月1日のランクは「多い」である。
 イ 表1の a が -4 以上 4 以下の整数ならば、4月2日の飛散数は4月3日の飛散数より少ない。

4月	1日	2日	3日
基準との差 (個/ cm^2)	$-a^2$	a	$a + 2.5$

(3) はるかさんは、ある年の3月について、日々花粉の飛散数をWebページで調べた。そのデータをもとに、各週の月曜日から金曜日の5日間の飛散数の平均値を求め、週ごとの飛散数の変化の様子を見ることにした。基準を 30.0 個/ cm^2 として表2、表3を作成し、これらの表から平均値を求めた。表2は第2週の5日について、表3は第3週の5日について、その日の飛散数から、基準とした 30.0 個/ cm^2 をひいた値を示している。

表2

第2週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
基準との差 (個/ cm^2)	-1.0	3.0	-1.0	-5.0	4.0

表3

第3週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
基準との差 (個/ cm^2)	$-2x^2 + 6$	$-4x + 5$	11.0	$x + 13$	7.0

表2の5日間の飛散数の平均値は何 cm^2 か、求めなさい。

表3の5日間の飛散数の平均値は何 cm^2 か、求めなさい。

表2の5日間の飛散数の平均値を求めたとき、表3の5日間で、飛散数と同じである日の組み合わせはなかった。表3の x の値を求めなさい。

表2の5日間の飛散数の平均値を求めたとき、表3の5日間で、平均値を初等平均値とする方法に、次のように考察した。 \square i、 \square ii にあてはまる数をそれぞれ求めなさい。

【平均値の求め方】

- 表2の5日間の飛散数の平均値を求めたとき、基準を 40.0 個/ cm^2 として、平均値を求めることもできる。基準を 40.0 個/ cm^2 として、表3と同様にして第3週について新たな表を作成すると、「基準との差」の5つの数の中で最大の値は \square i であり、「基準との差」の5つの数の和は \square ii である。
- \square ii の絶対値と、表3の「基準との差」の5つの数の和の絶対値を比較すると、 \square ii の絶対値の方が小さいので、第3週の平均値を求めるときは、基準を 40.0 個/ cm^2 として求める方が効率的だと考える。

57.5
2.4
0.5

平均 51.9点

問題番号	素材の構成	小問番号	内容	得点率%
1	正負の数の計算	(1)	負の数の計算	98.3
	単項式の計算	(2)	単項式の除法	96.1
	平方根の計算	(3)		3
	因数分解			
	反比例			
	立体の体積			
	角の大きさ			
	標本調査			93.1
2	数と式, 確率	(1)		85.2
		(2)①	6番目の数	55.1
		(2)②	11になる確率	74.8
		(2)③	10の倍数になる確率	41.7
		(2)④	5の倍数にならない確率	20.5
3	関数	(1)	比例定数aの値	86.2
		(2)	条件を満たす点の座標	79.0
		(3)	直線の式	58.4
		(4)	三角形の面積	36.1
		(5)	回転移動後のy座標	1.6

**回避問題以外
全正解→83点!**

4	連立方程式	(1) i	玉の個数	66.4
		(1) ii	玉の個数	53.6
		(1) iii	式が表す数量の関係	51.8
		(1) iv	式が表す数量の関係	21.3
		(2)	玉の個数	5.4
5	平面図形	(1) i	平面図形の性質	90.9
		(1) ii	平行線の性質	91.1
		(2)	線分の長さ	66.4
		(3)	線分の長さ	15.1
(4)	回転してできる面積	0.2		
6	総合的な課題	(1)	ランク分け	75.8
		(2)	命題の真偽, 反例	17.5
		(3)①	平均値	57.5
		(3)②	xの値	2.4
		(3)② i ii	基準を変えた場合の数値	0.5

考察

後半になると、問題解決のための思考力が問われる

- 毎年10～20点分は、難易度の高い問題になっている
- 大問最後は回避問題で、後半に向けて難しくなる構成であった
- 大問2番から初見問題のため、パニックに陥らないことが重要
- 小問最初は基本問題で、7割以上の受験生が正解している
- 60～80点が3割以上を占めるので、解ける問題は確実に得点する

理科

兵庫県入試 過去5年平均点

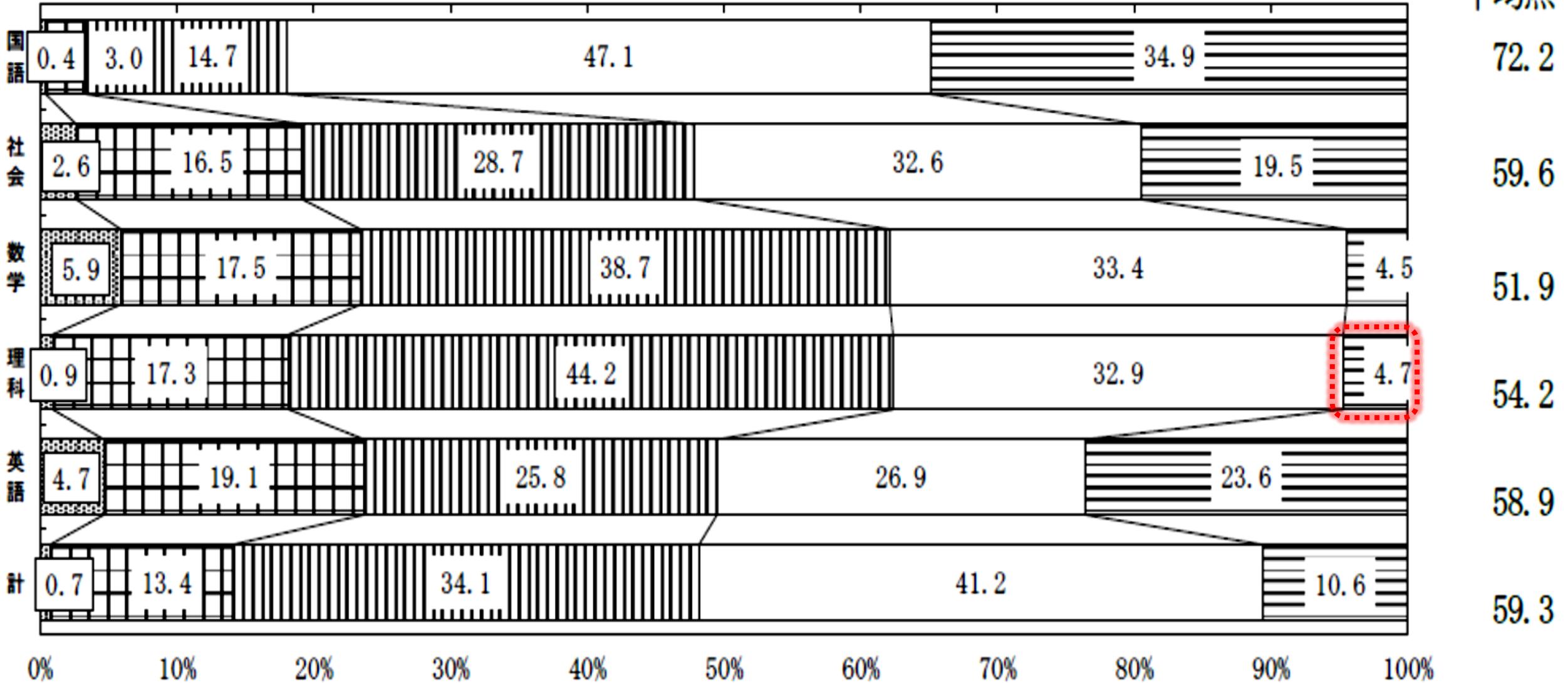
文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

(令和7年度)

80点以上 → 5%未満!

平均点



問題番号	素材の構成	小問番号	内容	得点率%
I	植物の種類の多様性と進化	1	(1) シダ植物の分類	69.6
			(2) シダ植物と裸子植物の違い	69.6
			(3) 地質時代と生物界の移り変わり	36.8
			(4) 化石燃料の特徴	77.6
	植物の体のつくりと働き	2	(1) 光合成を行う部分	70.8
			(2)① 実験結果の考察	43.4
			(2)② 栄養生殖を行う植物	69.7
			(2)③ 仮説を検証する実験方法	35.5
II	地震の伝わり方	1	(1) 地震計の記録	88.9
			(2) 初期微動継続時間と震源距離	77.1
			(3) 震源の位置	61.0
			(4) 震源の深さ	61.5
	太陽系の惑星と金星の見え方	2	(1) 地球型惑星の分類	82.7
			(2) 小惑星の特徴	31.4
			(3) 金星と地球の位置関係	40.3
			(4) 南半球における金星の見え方	31.3

III	酸・アルカリと中和	1	(1) 塩酸の性質	74.3
			(2) 塩の化学式	76.3
			(3) 中和反応とイオンのモデル	56.5
			(4) 塩酸の体積とイオンの総数の関係	42.5
	身の回りの物質とその性質	2	(1) メスシリンダーの目盛りの読み方	96.8
			(2) 密度による物質の区別	70.4
			(3) 密度による物質の浮き沈み	52.3
			(4) 物質の密度の範囲	6.6
IV	光による現象	1	(1) スクリーンに映る像の向き	57.6
			(2) スクリーンに映る像の名称と大きさ	34.3
			(3) 焦点距離	17.0
			(4) 細工した凸レンズと像の関係	56.6
	電流とその利用	2	(1) 直列回路と並列回路の性質	53.8
			(2) 日常生活と関連した回路	31.1
			(3) 電熱線の電力と温度上昇の関係	29.2
			(4) 電熱線の電力量	44.7

考察

3年間平均50点未満から、54点に上がりました

- 例年通り文章量が多く、**実験**や**観察資料**から出題している
- **回避問題**は大問の最後であり、とばす判断は容易であった
- 2022年では、**回避問題**が大問の途中にあった
- 解き始める前に、分野・単元を確認して解く順序を検討する
- 分野毎の配点は均等、1分野の得点率は下がる傾向あり

社会

兵庫県入試 過去5年平均点

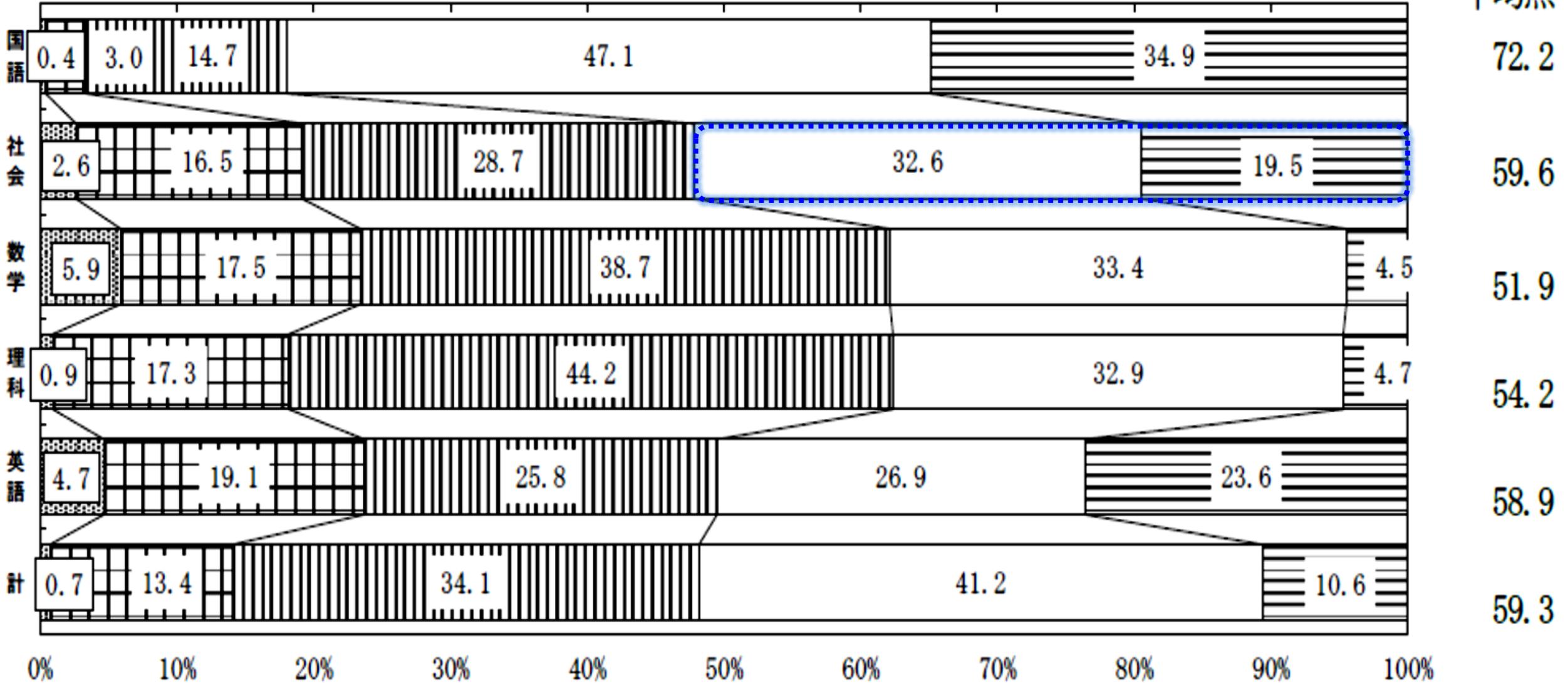
文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

(令和7年度)

60点以上 → 半数以上！

平均点



問題番号	素材の構成	小問番号	内容	得点率%	
I	北アメリカ・南アメリカ	1	(1)	アメリカ合衆国の地形	70.6
			(2)	対せき点	68.9
			(3)①	南北アメリカの農業	32.8
			(3)②	農業と環境, エネルギー問題	90.3
			(4)	アメリカ合衆国の産業	52.5
			(5)	南北アメリカの貿易の推移	42.1
	中部地方	2	(1)	中部地方の気候	64.4
			(2)	中部地方の農業の特色	61.5
			(3)	水の利用と産業	52.9
			(4)	中部地方の工業の特色	34.6
			(5)①	地形図の読み取り	35.1
			(5)②	地形図の読み取り	49.1
			(5)③	用水の整備と活用	72.3
II	日本の世界との関わり	1	(1)	四大文明の特徴	34.5
			(2)	鉄砲の伝来	65.2
			(3)	仏教の変遷	55.1
			(4)①	元寇と幕府の執権	50.9
			(4)②	元寇の影響	52.9
			(5)	鎖国	77.8
			(6)	日本の世界との関わり	74.6

II	近代以降の日本のあゆみ	2	(1)	自由民権運動の進展	36.1
			(2)	自由党の結成	45.3
			(3)	大日本帝国憲法の特徴	52.1
			(4)	大正デモクラシー	67.4
			(5)	衆議院議員総選挙の実施	77.3
			(6)	高度経済成長期の政策	19.0
			(7)	高度経済成長期の変遷	68.9
III	国際社会の成り立ち	1	(1)①	国際連合の目的	74.1
			(1)②	安全保障理事会の決議	75.6
			(2)①	日本の主権	59.7
			(2)②	日本の国会	75.8
			(2)③	国家の領域	60.3
			(3)	地域の結び付き	50.1
			持続可能な社会	2	(1)①
	(1)②	物価と賃金			51.8
	(2)①	各国のODA実績			83.4
	(2)②	ODA実績と為替相場			57.0
	(2)③	自由貿易			63.4
	(3)	持続可能な社会			70.4

考察

5年間の平均点が最も高く、取りこぼしに注意！

- 過去5年平均約60点は、最も得点しやすい教科と言える
- **正答率10%未満**の難題は、データとしては存在しない
- 正答率33%以下（マッピング赤）は、配点で7点のみ
- **図・グラフの資料理解を問う形式で、学力差を評価している**
- 単元を超えた事象のつながりを、整理しておく必要がある

英語

兵庫県入試 過去5年平均点

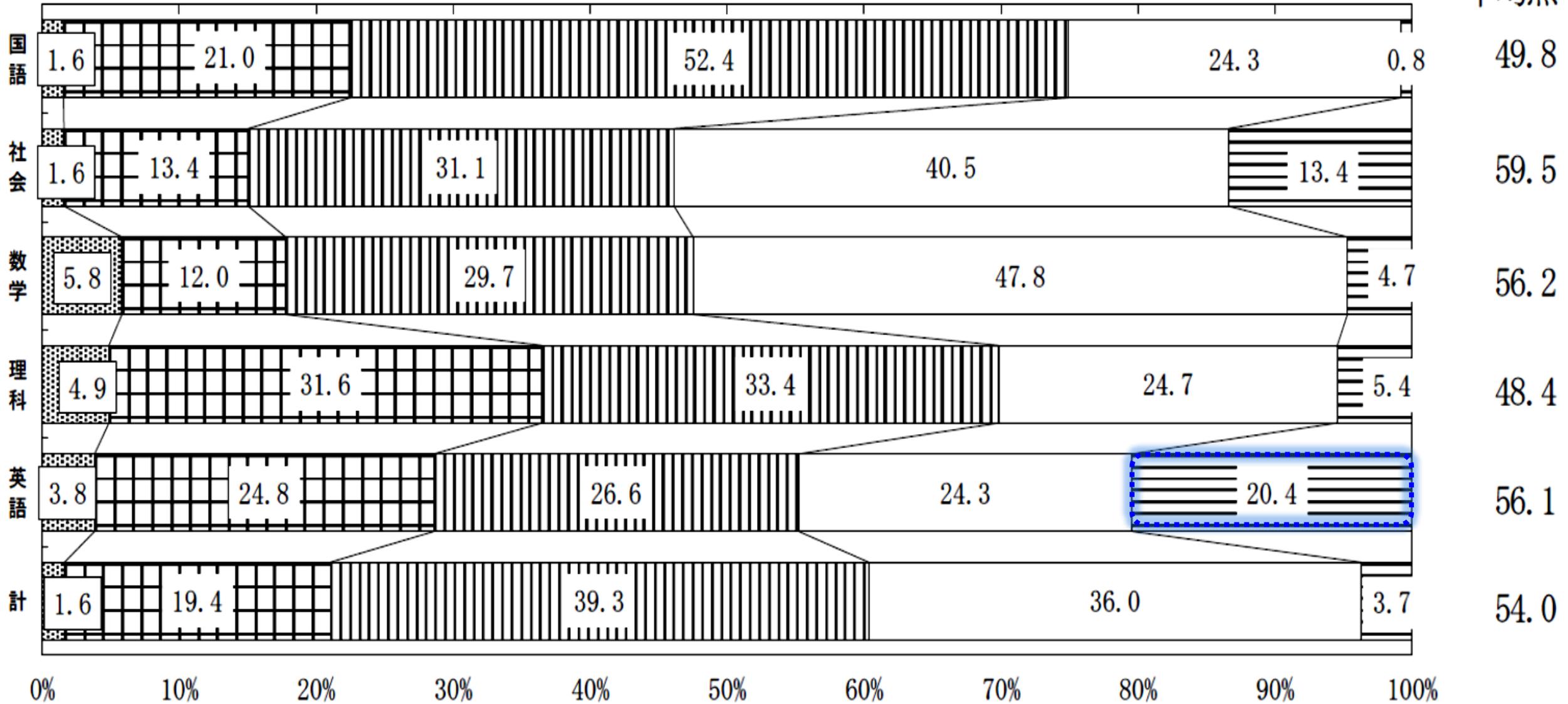
文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

(令和6年度)

80点以上 → 20%以上で最大!

平均点



問題番号	素材の構成		小問番号	内容	得点率%	
I	聞き取りテスト	会話文	1	No. 1	適切な応答の理解	56.8
				No. 2	適切な応答の理解	74.3
				No. 3	適切な応答の理解	58.0
	会話文	2	No. 1	要点の理解	73.6	
			No. 2	要点の理解	89.2	
			No. 3	要点の理解	47.4	
	説明文	3	Question1	概要や要点の理解	66.4	
Question2			概要や要点の理解	65.5		
II	日本とオーストラリアの高校生が、生徒会の活動についてやり取りをしている説明文	1	①	文脈の理解	82.4	
			②	文脈の理解	83.9	
			③	文脈の理解	73.4	
		2	(1)	内容の理解	56.3	
			(2)	内容の理解	80.3	
		3	あ	内容の理解	57.1	
			い	内容の理解	72.6	
III	地域の特色ある図書館の取組について書かれた説明文	1	①	文脈の理解	58.3	
			②	概要の理解	62.7	
		3	段落[3]	概要の理解	76.0	
			段落[4]	概要の理解	78.9	

IV	日本の高校生とイギリスからの留学生が、様々な傘の種類について話をしている会話文	1	①	文脈の理解	74.8
			②	文脈の理解	71.6
		3	③	文脈の理解	53.6
			④	文脈の理解	54.4
		4		概要の理解	47.4
5	あ	与えられた語を用いた並べ替え	53.1		
	い	与えられた語を用いた並べ替え	25.9		
V	基本的な語彙・文法及び語法の知識を活用した英語表現を含む説明文と会話文	1	①	動詞の語形変化	29.2
			②	動詞の語形変化	25.5
			③	動詞の語形変化	15.5
		2	①	基本的な語彙, 表現	48.6
			②	基本的な語彙, 表現	40.0
			③	基本的な語彙, 表現	21.2
			④	基本的な語彙, 表現	47.7
⑤	基本的な語彙, 表現	8.4			

1. 放送を聞いて、聞き取りテスト1、2、3の問題に答えなさい。答えは、全て解答用紙の指定された解答欄の符号を○で囲みなさい。

聞き取りテスト1 会話を聞いて、その会話に続く応答として適切なものを選びなさい。会話のあとに放送される選択肢 a～e から応答として適切なものを、それぞれ1つ選びなさい。
(会話と選択肢は1回だけ読みます。)

No.1 (場面) 先生と生徒が教室で会話している

No.2 (場面) 身につけている服装について会話している

No.3 (場面) 親子が会話している

聞き取りテスト2 会話を聞いて、その内容についての質問に答えなさい。それぞれ会話のあとに質問がきます。その質問に対する答えとして適切なものを、次の a～d からそれぞれ1つ選びなさい。(会話と質問は2回読みます。)

No.1
a The facility was old.
b The food was cheap.
c The drink was delicious.
d The view was not good.

No.2
a After drinking water.
b After breakfast.
c After lunch.
d After dinner.

No.3

聞き取りテスト3 英語による説明を聞いて、その内容についての2つの質問 Question 1, Question 2 に答えなさい。英文と選択肢が放送されます。英文のあとに放送される選択肢 a～d から質問に対する答えとして適切なものを、それぞれ1つ選びなさい。
(英文と選択肢は2回読みます。)

(場面) ALTが授業で理科の魅力について話をしている

Question 1 What does the speaker say about science?
Question 2 What is the speaker's hope for students?

66.4
65.5

II 高校生のかずやさん、オーストラリアで同じ高校に通うビクトリアさんとブレイクさん、生徒会担当の石田先生が生徒会での取組や課題について、オンラインで意見交換をしています。次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Ms. Ishida: Hello, everyone. Today, we are going to talk about school activities. Please tell us what you have done as school leaders. Let's start with Kazuya.

Kazuya: OK. This year, we focused on the rules in our school. Our student council collected opinions from all the students and discussed which rules we should change. I think we will be more responsible for our behavior if we improve the rules by ourselves. Now, we are happy with the new rules.

Ms. Ishida: You did a good job. Sometimes, it is important to [㉠] and use the students' ideas to change them. Tell us about your school, Victoria.

Victoria: Our student council planned the school dance festival. When we showed our plans to the students, they often had different opinions. We listened to their opinions carefully because we wanted them to enjoy our event. We tried to see things from the various points of view of all the students in our school. As a team, we played an important part for the event.

Ms. Ishida: Nice. You are a good leader! I imagine the students could [㉡] because of your efforts. How about you, Blake?

Blake: As Victoria said, respecting different opinions is important for success. After talking about the details of the event, we needed to do some things right away. For example, we made videos to spread information about the event to other students. We thought it was quite easy to plan an event, but we had a lot of trouble....

Ms. Ishida: Good effort! I would like to [㉢]. They must be interesting! I believe being a leader at school will be a valuable experience for students like you. Don't worry about your mistakes.

(注) student council 生徒会

82.4
83.9
73.4

1 文中の [㉠]、[㉡]、[㉢] に入る適切なものを、次のア～オからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア make the same mistakes
イ enjoy the dance event
ウ have a sense of humor
エ watch the videos you made
オ consider the rules

2 発言の内容に合うように、次の [] に入る適切なものを、あとのア～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

(1) [] talking about the school festival.
(2) [] talking about the experience of changing rules.

ア Only Kazuya is
イ Only Victoria is
ウ Only Blake is
エ Kazuya and Victoria are
オ Kazuya and Blake are
カ Victoria and Blake are

3 かずやさんは、意見交換をした次の日にビクトリアさんとブレイクさんにメールを書きました。本文の内容に合うように、[㉠]、[㉡] に入る適切なものを、あとのア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア how long did it take to create videos for the event
イ when were the old rules changed in your school
ウ what were the effective ways to choose good ideas
エ why did the students ask you to become a leader

58.3
62.7
80.3
57.1
72.6

III 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) How do you use the library in your town? Many people think it is a place to borrow books or study quietly. However, these days, some libraries have started providing many kinds of events and services to [㉠] people in the community. Let's see their unique challenges.

(2) One library invites foreign residents in the town to an interesting event. In the event, they read books in their own languages for the children of the town. A university student from China read picture books in Chinese and Japanese for them. After reading the books, the children enjoyed some quizzes about them. The student also taught the children greetings, songs, and how to count numbers in Chinese. The children could enjoy the stories and learn words and expressions at the same time. This event [㉡].

(3) Another library has an event which gives young people a chance to learn many things from elderly people. In one event, a man told children an old folk tale* from the local area. It was about the origin of their town. An old woman also taught young people how to make handmade miso. Everyone was moved by the taste of the miso. The secret was to use local soybeans and put them in water for a long time. Young people could learn the history and wisdom that remain in the local area. This event connects people between different generations.

(4) Another library offers a service to people who cannot read well. To support them, many volunteers read books aloud. In this volunteer activity, it is necessary to use special skills like pronouncing words clearly, explaining pictures well, etc. So, the library provides workshops* to improve the volunteers' skills. After they learn these skills, they will be able to read books aloud to people who need help. Also, they will be able to record their voices for people who cannot come to the library. Everyone has access to the recorded voices on the Internet. This service makes the library useful to many people.

(5) Thanks to these events and services, the number of people who come to libraries is increasing. One of the roles of libraries is to offer many kinds of books and a lot of information to people. Also, libraries are becoming popular places to make relationships with new people. Which libraries do you want to visit to find new friends in your community?

(注) picture books 絵本 folk tale 民話 workshops 講習会

58.9

1 文中の [㉠] に入る適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア observe and trust
イ gather and connect
ウ recognize and separate
エ judge and refuse

2 文中の [㉡] に入る適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア lets librarians check what their users want to read
イ shows foreign residents how to borrow books from libraries
ウ gives young parents some advice to read books to their children
エ helps children understand various languages and cultures

3 次の英文は、本文中で示された図書館の取組に参加した生徒たちが、英語の授業で書いた感想です。段落[3]、段落[4]のイベントやサービスについての感想として適切なものを、次のア～カからそれぞれ2つずつ選んで、その符号を書きなさい。

ア It was very difficult to understand the books at first because there were some words I did not know. Quizzes helped me understand these words.

イ The taste reminded me of my grandmother. She used to cook a delicious soup for our family. I think the recipe is a treasure. We should protect it for the future.

ウ I enjoyed the old stories written in Chinese. The pictures in the stories were colorful and they were very attractive to me.

エ I have never imagined such wonderful reading skills. I learned there were many skills to tell stories better to other people.

オ I read some books and recorded my voice on my computer. I could not hear my recorded voice well. So, I think I need more practice.

カ I am very glad to listen to the stories from people of different ages. I will borrow books about our town's history.

IV 高校生のあかねさんとイギリスのロンドンからの留学生ポールさんが、一緒に下校しています。次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Akane: It was rainy and windy yesterday. My umbrella was broken by the strong wind.
Paul: [㉠]. I saw a lot of people who were in trouble like you.
Akane: Oh, really? How was your umbrella?
Paul: In fact, [㉡].
Akane: What?
Paul: I don't think many people in London use umbrellas. Instead, they wear jackets or coats that dry* quickly.
Akane: If I do that, [㉢]. But I want to carry a tough umbrella that I can use even in strong wind.
Paul: I've never heard of it. Is there an umbrella like that?
Akane: Yes, it has more ribs* than common umbrellas and they are made of a very strong material.
Paul: Sounds interesting.
Akane: There are more interesting umbrellas. For example, there is an umbrella which dries immediately. Rain drops don't stay on it. So, we don't have to bring wet umbrellas into buses, trains, or buildings.
Paul: That's very convenient. By the way, last summer, I noticed many people were using their umbrellas though it wasn't raining. Why was that?
Akane: They use them to protect themselves from sunshine.
Paul: Um... [㉣].
Akane: I can understand your feelings, but there is a useful umbrella. It's very light and becomes so small when it is folded. You can use it on both sunny days and rainy days.
Paul: Oh, that's very nice. There are many kinds of umbrellas. How creative!
Akane: Thanks to them, we can feel comfortable any day.
Paul: Yes, I respect the people who invented such umbrellas. I'll go shopping and look for an umbrella this weekend. Oh, it started raining!
Akane: I can't believe it! The weather news this morning said that it wouldn't be rainy today. If I had my umbrella, I would share it with you.
Paul: Thank you. Anyway, let's hurry to the station!

53.6
54.4

(注) dry 乾く ribs 骨

1 文中の [㉠] に入る適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア It's my turn.
イ Here you are
ウ That's too bad
エ I'm against it

2 文中の [㉡] に入る適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア I carry an umbrella everywhere.
イ I can't carry your broken umbrella.
ウ I don't usually use an umbrella.
エ I have another umbrella you can use

3 文中の [㉢]、[㉣] に入る適切なものを、次のア～エからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア I want you to bring an umbrella that we can use together.
イ I don't want to carry an umbrella just for that purpose.
ウ I will ask my mother to buy a new umbrella tomorrow.
エ I won't have to worry about using an umbrella in the wind

4 下線部について、あかねさんが、この発言をした理由として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア Because Akane didn't think she needed her umbrella.
イ Because Akane didn't know about the latest umbrella.
ウ Because Paul didn't have an umbrella.
エ Because Paul didn't decide to buy an umbrella.

5 ポールさんは、あかねさんとの会話を思い出しながら日記を書きました。本文の内容に合うように、次の [㉠]、[㉡] に、あとのそれぞれの [] 内の語から4語を選んで並べかえ、英文を完成させなさい。

Today, I talked with Akane about many kinds of umbrellas. They [㉠] me. I was very impressed. When people create a new product, they consider [㉡] our daily lives better with it. Someday, I'd like to invent many products people want to use.

[㉠] were familiar did not to
[㉡] make they what how can

47.4
53.1
25.9

V 次の各問いに答えなさい。

1 次の英文は、留学生のルシアさんが、部活動で経験したことを英語でレポートに書いた内容です。[㉠]～[㉣] に入る英語を、あとの語群からそれぞれ選び、必要に応じて適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、英文を完成させなさい。ただし、2語以内で答えること。I belong to the Japanese calligraphy club. I thought Japanese calligraphy was very difficult because I was not good at writing hanji. My teacher told me [㉠] practicing, so I wrote hanji for two hours every day. At first, my work did not [㉡] nice, but I never gave up. Last week, the cultural festival [㉢] and I joined it with my club members. I was nervous, but our performance was successful. Japanese calligraphy taught me the importance of making an effort. Now, I am confident and I want to try more new things.

hold write keep see look

2 高校生のももかさんと留学生のルースさんが、下の記事A、記事Bを見ながら会話をしています。次の会話について、英文や記事の内容に合うように、(㉠)～(㉤) にそれぞれ適切な英語1語を入れて、会話を完成させなさい。

Momoka: I'm interested in these articles about sleeping. Look!
Lucas: What do they say?
Momoka: Article A says that sleeping time in winter is the (㉠) of all the seasons. Sleeping time depends on the time between sunrise and (㉡).
Lucas: I see. It also says that we can't sleep well in summer because it is too hot and (㉢).
Momoka: Yes. Look at Article B. According to the second point, it is better to make our room (㉣) when we sleep. Also, [㉠] to pay (㉤) to the temperature and environment of the room.

Lucas: That's right. Anyway, are you OK, Momoka? You have been yawning a lot.
Momoka: Sorry, I'm very sleepy. I read a novel till midnight.
Lucas: Well, we were just talking about sleeping. Take care of yourself and sleep well.

Article A 季節ごとの平均睡眠時間

Article B 良い睡眠のための環境づくり 以下の点に注意する

1 目中はできるだけだけ目を閉じる
2 寝室はできるだけ暗くして寝る
3 寝室は暑すぎず寒すぎない温度にする
4 できるだけ静かな環境で、リラックスして寝る

(参考) ※睡眠時間は、日の出から日の入りまでの時間の長さによると考えられる
※夏の高温・多湿は、ぐっすり眠れなくなる原因と考えられる

(厚生労働省「健康づくりのための睡眠ガイド2023」より作成)

29.2
25.5
15.5
48.6
40.0
21.2
47.7
8.4

平均 58.9点

40.4

考察

毎年、平均点55点前後で安定

- 大問最後「**文法**」事項は、正答率が下がる傾向にある
- 長文が多いので、読解時間の配分が鍵を握る
- 本文は社会性のある題材で、**討論**や**発表**の形式をとっている
- **文法能力だけでなく、状況に合わせた思考・表現が問われている**
- **グローバル社会に対応できるコミュニケーション力が求められている**

国語

兵庫県入試 過去5年平均点

文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

兵庫県入試 過去5年平均点

文系が点をとりにやすく、理系はとりにくい??

	英語	数学	国語	社会	理科	5教科
2025	58.9	51.9	72.2	59.6	54.2	296.5
2024	56.1	56.2	49.8	59.5	48.4	270.0
2023	55.3	57.3	55.4	57.7	48.9	274.5
2022	55.6	51.8	56.3	56.3	41.4	261.5
2021	52.1	52.6	53.2	60.1	51.7	269.5
平均	55.6	54.0	57.4	58.6	48.9	274.4

問題番号	素材の構成	小問番号	内容	得点率%
一	言語活動 「トライやる・ウィーク後の校内発表会に向けての話し合い」	問一	語句の理解	77.6
		問二	漢字の読みの理解	98.5
		問三	情報の読み取りと活用	86.9
		問四	情報の読み取りと活用	88.7
		問五	情報の読み取りと活用	61.2
		問六	情報の読み取りと活用	87.4
		問七	情報の読み取りと活用	47.2
二	漢文『唐詩選』	問一	返り点の理解	86.0
		問二	内容の理解	77.0
三	古文『身の鏡』	問一	言語文化の基礎知識	98.2
		問二	内容の理解	88.6
		問三	内容の理解	83.7
		問四	内容の理解	43.4
		問五	内容の理解	67.1

四	小説 八束澄子『森と、母と、わたしの一週間』	問一	漢字の読みの理解	99.4
		問二	言語文化の基礎知識	73.1
		問三	語句の理解	42.7
		問四	登場人物の状況の理解	76.0
		問五	登場人物の状況の理解	82.3
		問六	登場人物の状況の理解	53.6
		問七	登場人物の状況の理解	89.7
		問八	登場人物の設定の理解	69.7
五	論説 千葉雅也『センスの哲学』	問一	正しい漢字の選択	96.9
		問二	文法の理解	20.5
		問三	内容理解	89.1
		問四	内容理解	53.3
		問五	内容理解	51.4
		問六	内容理解	48.6
		問七	内容理解	65.2
		問八	内容理解	50.9

中学校卒業のAさん・Bさん・Cさん・Dさんたちは、それぞれの「ストーリー」を、ワークブックの書き込みで表現し、発表しました。

【資料1】 校内外の活動について
1 校内外の活動について、自分なりの考えを述べ、実践を振り返ります。
2 スライドの内容を振り返ります。
3 1年生に加えて、事務局の方を呼んで、話し合います。

【資料1】 校内外の活動と実践
表: 活動内容、実施日時、参加人数、実施場所、実施内容、実施結果

【資料2】 学校給食における地産産物活用状況
表: 活用状況、活用割合、活用内容

【資料3】 地産産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料4】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料5】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料6】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料7】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料8】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料9】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料10】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料11】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料12】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料13】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料14】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料15】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料16】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料17】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料18】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料19】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料20】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料21】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料22】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料23】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

【資料24】 地域産物等の活用促進
表: 活用促進の取組、活用促進の効果

平均 12.2点

考 察

昨年度は平均点が72点、過去最高でした

- 全体的な構成は、昨年度と同じ形式であった
- 登場人物の把握や、**心情理解**の問題も出題されている
- **丁寧に本文を確認し、的確に選択肢を取捨していく**
- **文法・漢字・熟語の基礎知識**は、毎年の必出問題です
- 国語の入試解説スライドショーは、塾長が制作を進めます

② 夏期 & 受験講習

スケジュール

受験対策

中3生 受験講習のながれ

目的と目標を明確にして進行します

段階	目的	区別	目標
① 夏期	基礎の復習	単元ごと	応用問題を解くための基礎知識の整理
② 秋期	入試の演習	年度ごと	時間配分と最高のパフォーマンス
③ 冬期	傾向と戦術	形式ごと	問題表現とその攻略法を習得

中3生 受験講習のながれ

目的と目標を明確にして進行します

段階	目的	区別	目標
① 夏期	基礎の復習	単元ごと	応用問題を解くための基礎知識の整理
② 秋期	入試の演習	年度ごと	時間配分と最高のパフォーマンス
③ 冬期	傾向と戦術	形式ごと	問題表現とその攻略法を習得

2025 夏期講習時間割

	9:30~12:20	14:30~17:20		19:00~21:30			
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F	講義棟 1F	講義棟 2F	自習棟
7/21 (月)	兵庫県入試模試 2025 [9:00-15:10]			講習①	S1		
23 (水)	講習① 数英漢	講習① 理社単	講習②				自立型
24 (木)	講習① 理社単	講習① 数英漢			S2		
25 (金)	講習② 数英漢	講習② 理社単	講習③	S2	S2		
26 (土)	講習② 理社単	講習② 数英漢					自立型
27 (日)					S3		
28 (月)	講習③ 数英漢	講習③ 理社単	講習④	S1			
29 (火)	講習③ 理社単	講習③ 数英漢		S1	S1		
30 (水)	講習④ 数英漢	講習④ 理社単	講習⑤				自立型
31 (木)	講習④ 理社単	講習④ 数英漢		S2			
8/1 (金)	講習⑤ 数英漢	講習⑤ 理社単	講習⑥	S2	S2		
2 (土)	講習⑤ 理社単	講習⑤ 数英漢			達成テスト		自立型
3 (日)				S3			
4 (月)	講習⑥ 数英漢	講習⑥ 理社単	講習⑦	S1			
5 (火)	講習⑥ 理社単	講習⑥ 数英漢		S1	S1		
6 (水)	講習⑦ 数英漢	講習⑦ 理社単	講習⑧				自立型
7 (木)	講習⑦ 理社単	講習⑦ 数英漢		S2			
8 (金)	講習⑧ 数英漢	講習⑧ 理社単	講習⑨	S2	S2		
9 (土)	講習⑧ 理社単	講習⑧ 数英漢					自立型
10 (日)				S3			

11 (月)	講習⑨ 数英漢	講習⑨ 理社単	講習⑩	OS		
12 (火)	講習⑨ 理社単	講習⑨ 数英漢				
13 (水)	講習⑩ 数英漢	講習⑩ 理社単	講習⑪			自立型
14 (木)	講習⑩ 理社単	講習⑩ 数英漢				
夏季休業 15(金)~17(日)						
18 (月)	講習⑪ 数英漢	講習⑪ 理社単	講習⑫	S1		
19 (火)	講習⑪ 理社単	講習⑪ 数英漢		S1	S1	
20 (水)	講習⑫ 数英漢	講習⑫ 理社単	講習⑬			自立型
21 (木)	講習⑫ 理社単	講習⑫ 数英漢		S2		
22 (金)		国語 対策	講習⑭	S2	S2	
23 (土)		数学 対策				自立型
24 (日)				S3		
25 (月)		英語 対策	講習⑮	S1		
26 (火)		理科 対策		S1	S1	
27 (水)		社会 対策	講習⑯			自立型
28 (木)						
29 (金)						
30 (土)						自立型
31 (日)						
9/1 (月)						

日程		数学	英語	理科	社会
①	7/23(水)	式の計算	一般動詞(現在/過去)	光音	世界総論
②	25(金)	連立方程式	未来/助動詞	力	世界各論①
③	28(月)	比例・反比例	形容詞・副詞	電流の性質	世界各論②
④	30(水)	一次関数	接続詞・前置詞	磁界	日本総論
⑤	8/1(金)	平面空間図形	不定詞①・動名詞	物質の変化	日本各論①
⑥	4(月)	三角形	比較	化学変化①	日本各論②
⑦	6(水)	平行四辺形	受動態	化学変化②	古代
⑧	8(金)	資料の整理	現在完了	大地	中世
⑨	11(月)	確率	不定詞②	天気	近世
⑩	13(水)	乗法公式	疑問詞	植物	現代・明治大正
⑪	18(月)	平方根	分詞	動物	現代・昭和①
⑫	20(水)	二次方程式	be動詞②	生殖	現代・昭和②

タイムスケジュール

時間帯	教科	内容
9:30-10:45 (75)	数学	過去良問傾向対策 確認テスト抜粋 達成テスト
10:55-12:05 (75)	英語	
12:05-12:15 (10)	国語	漢字テスト
14:30-14:50 (20)	英語	単語・熟語テスト
14:50-16:00 (70)	理科	過去良問傾向対策 演習解説 確認テストナレーション
16:10-17:20 (70)	社会	

※コロナ対策として、昼食は帰宅対応とします

③ オンラインだからできる講習形式

— 1講座を2回の配信 —

Zoomを最大限に活用

部活動等で受講できないことが、少なくなります！

- オンラインが広がり、Zoomを活用して受講する塾生が増えています
- 達成テストも、自宅で受験できる環境です
- **同一講座を2日で2回、午前午後を交換する方式で配信します**
- 欠席することなく、受講できる確率が上がります
- **同一講座を2回受講して、知識の習得率の向上を図れます**

講習活用法

月水金の午前と午後で、学習習慣を維持！

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- 午前はZoomのみ、午後は教室で受講を選択できます
- 月水金のZoom講座では、塾長が指導管理を行います

講習活用法①

基礎知識不十分な途中入塾生に効果あり！

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

○ 同一講座を、2回ずつ受講することも可能です

○ 火木土の同一講座は、配信サービスのみとなります

講習活用法①

基礎知識不十分な途中入塾生に効果あり！

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- 同一講座を、2回ずつ受講することも可能です
- 学習指導を必要とする場合、金曜日午後に通塾します

講習活用法②

部活動や都合で午前中に受講できない場合

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- 午後だけで、講習を受講することが可能になります
- 学習指導を希望する場合、月水金の午後に通塾します

講習活用法③

部活動や都合で午後に受講できない場合

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- 午前だけで、講習を受講することが可能になります
- 午前中は、Zoom講座のみの受講となります

講習活用法④

OSを利用して、過去良問を進めたい場合

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- OSを優先するため、講習は午前のZoomの受講となります
- 数英漢は、Zoomで2回受講することが可能となります

講習活用法④

OSを利用して、過去良問を進めたい場合

	9:30～12:20	14:30～17:20		
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F
26 (水)	講習② 数英漢	講習② 理社単		講習④
27 (木)	講習② 理社単	講習② 数英漢		

- OSを優先するため、講習は午前のZoomの受講となります
- 数英漢は、Zoomで2回受講することが可能となります

直前対策

『過去良問』のスライドショー解説をします

8/22(金)	国語	33108 33015	33019 33012	33016 33013	33017	33014
23(土)	数学	22154 23250	22256 22549	21446 22463	22453 22344	22645
25(月)	英語	13012	13013	13015	13016	13019
26(火)	理科	51115 52313	51117 52120	51124 52416	52113 51420	53315
27(水)	社会	41101 42512	41222 41510	41223 41511	41226 42614	42516

中3生 受験講習のながれ

目的と目標を明確にして進行します

段階	目的	区別	目標
① 夏期	基礎の復習	単元ごと	応用問題を解くための基礎知識の整理
② 秋期	入試の演習	年度ごと	時間配分と最高のパフォーマンス
③ 冬期	傾向と戦術	形式ごと	問題表現とその攻略法を習得

2025 受験講習時間割

回	曜日		入試	数学	英語	リスニング	国語	理科	社会
①	9/6	土	英 2025	一次方程式 2017-II	文法① 2017-IV	2013			
②	13	土	数 2025		リスニング 2020-1	2014		植物 2018-I	アフリカ・南米 2017-I①
③	20	土	国 2025	連立方程式 2018-II	文法② 2019-V	2015			
④	27	土	社 2025			2016	表現 2020-1	動物 2019-II	アフリカ・欧州 2019-I①
⑤	10/11	土	理 2025	関数と方程式 2019-II	日本語資料 2017-II	2017			
⑥	18	土	英 2022		リスニング 2020-2	2018		地層 2020-IV	東北地方 2017-I②
⑦	25	土	数 2022	二次関数① 2017-III	英語資料① 2019-II	2019			
⑧	11/1	土	国 2022			2020	古文 2020-3	天気 2019-IV①	関東地方 2018-I②
⑨	8	土	社 2022	二次関数② 2018-III	英語資料② 2020-II	2021			
⑩	22	土	理 2022		リスニング 2020-3	2022		宇宙 2018-V①	古代～近世 2016-II①
⑪	29	土	英 2023	確率① 2016-IV	状況判断① 2016-III	2023			
⑫	12/6	土	数 2023			2024	漢文 2020-2	物質の変化① 2016-II	古代～近世 2019-II①
⑬	13	土	国 2023	確率② 2019-V	状況判断② 2017-II	2014			

①	20	土	社 2023		リスニング 2019-1	2015			化学変化① 2017-III	近代～現代 2018-II	
②	24	水	理 2023	資料 2020-IV	会話文① 2019-IV	2016					
③	25	木	英 2024			2017		小説 2020-4	酸・加加 2019-III	近代～現代 2019-II②	
④	26	金	数 2024	図形総合① 2018-V	会話文② 2018-V	2018					
⑤	27	土	国 2024		リスニング 2019-2	2019			発熱量 2018-IV①	政治 2016-III	
⑥	28	日	社 2023	図形総合② 2019-IV	長文読解① 2020-III	2020					
	29	月	OS								
1/4 (日) ～7 (水) 実力テスト対策											
⑦	1/10	土	理 2023			2021		説明文 2020-5	発熱・回路 2020-V	経済 2015,2018-III	
⑪	17	土	国語 傾向と対策	総合課題① 2021-VI	長文読解② 2019-III	2022					
⑫	24	土			リスニング 2019-3	2023			運動 2017-V	社会保障 2019-III②	
⑬	31	土		総合課題② 2021-VI	長文読解③ 2018-IV	2024					
⑭	2/7	土	数学 傾向と対策								
⑮	14	土	理科 傾向と対策								
⑯	21	土	社会 傾向と対策								
⑰	28	土	英語 傾向と対策								

タイムスケジュール

暗記	9:30～9:50 (20)	漢字・国文法テスト	
	9:50～10:10 (20)	英単語・英熟語テスト	
ヒアリング	10:10～10:40 (30)	英語ヒアリングを、大問1題ずつ演習	
兵庫県 公立入試 (1教科)	10:50～11:40 (50)	演習＋ペースメイキング	
	11:40～12:00 (20)	解答・間違い直し	
	(昼休み)		
	14:00～14:40 (40)	解説＋ミスの原因究明	
	14:40～14:55 (15)	傾向と対策＋マッピング＋解答順序 ※次回分	
	受験テクニック	15:00～16:10 (70)	数学
16:20～17:30 (70)		英語	長文の速読理解のトレーニング
15:00～16:10 (70)		理科	回避問題まで一旦理解する
16:20～17:00 (40)		社会	資料の理解活用のトレーニング
17:00～17:30 (30) ※隔週		国語	正答率の低い小問の解説授業
		ヒアリング	小問ごとにポイントを解説

実力テスト対策

中1・中2 実力テスト対策

長期休みの講習は、実力テスト対策です

コース	目標	形式	費用
補習	○ワーク基本・練習問題の完成 ○通常内容を再度理解する	OSを利用した個別指導 塾長のカウンセリングにより 問題選択と計画を実施します	¥15,000- (税抜き)
実践	○過去良問の演習と解説 ○兵庫県入試問題を知る	一斉指導によるSS解説 既習範囲の入試問題を1題演習	

※ 前学期分のポイントが充当できます

夏期講習 時間割

	9:30~12:20	14:30~17:20		19:00~21:30			
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F	講義棟 1F	講義棟 2F	自習棟
7/21 (月)	兵庫県入試模試 2025 [9:00-15:10]		講習①		S1		
23 (水)	講習① 数英漢	講習① 理社単	講習②				自立型
24 (木)	講習① 理社単	講習① 数英漢			S2		
25 (金)	講習② 数英漢	講習② 理社単	講習③		S2	S2	
26 (土)	講習② 理社単	講習② 数英漢					自立型
27 (日)					S3		
28 (月)	講習③ 数英漢	講習③ 理社単	講習④		S1		
29 (火)	講習③ 理社単	講習③ 数英漢			S1	S1	
30 (水)	講習④ 数英漢	講習④ 理社単	講習⑤				自立型
31 (木)	講習④ 理社単	講習④ 数英漢			S2		
8/1 (金)	講習⑤ 数英漢	講習⑤ 理社単	講習⑥		S2	S2	
2 (土)	講習⑤ 理社単	講習⑤ 数英漢				達成テスト	自立型
3 (日)					S3		
4 (月)	講習⑥ 数英漢	講習⑥ 理社単	講習⑦		S1		
5 (火)	講習⑥ 理社単	講習⑥ 数英漢			S1	S1	
6 (水)	講習⑦ 数英漢	講習⑦ 理社単	講習⑧				自立型
7 (木)	講習⑦ 理社単	講習⑦ 数英漢			S2		
8 (金)	講習⑧ 数英漢	講習⑧ 理社単	講習⑨		S2	S2	
9 (土)	講習⑧ 理社単	講習⑧ 数英漢					自立型
10 (日)					S3		

11 (月)	講習⑨ 数英漢	講習⑨ 理社単	講習⑩		OS		
12 (火)	講習⑨ 理社単	講習⑨ 数英漢					
13 (水)	講習⑩ 数英漢	講習⑩ 理社単	講習⑪				自立型
14 (木)	講習⑩ 理社単	講習⑩ 数英漢					
夏季休業 15(金)~17(日)							
18 (月)	講習⑪ 数英漢	講習⑪ 理社単	講習⑫		S1		
19 (火)	講習⑪ 理社単	講習⑪ 数英漢			S1	S1	
20 (水)	講習⑫ 数英漢	講習⑫ 理社単	講習⑬				自立型
21 (木)	講習⑫ 理社単	講習⑫ 数英漢			S2		
22 (金)		国語 対策	講習⑭		S2	S2	
23 (土)		数学 対策					自立型
24 (日)					S3		
25 (月)		英語 対策	講習⑮		S1		
26 (火)		理科 対策			S1	S1	
27 (水)		社会 対策	講習⑯				自立型
28 (木)							
29 (金)							
30 (土)							自立型
31 (日)							
9/1 (月)							

夏期講習 時間割

	9:30~12:20	14:30~17:20		19:00~21:30			
	Zoom	Zoom	講義棟 2F	講義棟 1F	講義棟 1F	講義棟 2F	自習棟
7/21 (月)	兵庫県入試模試 2025 [9:00-15:10]		講習①		S1		
23 (水)	講習① 数英漢	講習① 理社単	講習②				自立型
24 (木)	講習① 理社単	講習① 数英漢			S2		
25 (金)	講習② 数英漢	講習② 理社単	講習③		S2	S2	
26 (土)	講習② 理社単	講習② 数英漢					自立型
27 (日)					S3		
28 (月)	講習③ 数英漢	講習③ 理社単	講習④		S1		
29 (火)	講習③ 理社単	講習③ 数英漢			S1	S1	
30 (水)	講習④ 数英漢	講習④ 理社単	講習⑤				自立型
31 (木)	講習④ 理社単	講習④ 数英漢			S2		
8/1 (金)	講習⑤ 数英漢	講習⑤ 理社単	講習⑥		S2	S2	
2 (土)	講習⑤ 理社単	講習⑤ 数英漢				達成テスト	自立型
3 (日)					S3		
4 (月)	講習⑥ 数英漢	講習⑥ 理社単	講習⑦		S1		
5 (火)	講習⑥ 理社単	講習⑥ 数英漢			S1	S1	
6 (水)	講習⑦ 数英漢	講習⑦ 理社単	講習⑧				自立型
7 (木)	講習⑦ 理社単	講習⑦ 数英漢			S2		
8 (金)	講習⑧ 数英漢	講習⑧ 理社単	講習⑨		S2	S2	
9 (土)	講習⑧ 理社単	講習⑧ 数英漢					自立型
10 (日)					S3		

11 (月)	講習⑨ 数英漢	講習⑨ 理社単	講習⑩		OS	
12 (火)	講習⑨ 理社単	講習⑨ 数英漢				
13 (水)	講習⑩ 数英漢	講習⑩ 理社単	講習⑪			自立型
14 (木)	講習⑩ 理社単	講習⑩ 数英漢				
夏季休業 7/27(日) - 8/2(日)						
18 (月)	講習⑪ 数英漢					
19 (火)	講習⑪ 理社単					
20 (水)	講習⑫ 数英漢					
21 (木)	講習⑫ 理社単					
22 (金)						
23 (土)						
24 (日)						
25 (月)						
26 (火)						
27 (水)						自立型
28 (木)						
29 (金)						
30 (土)						自立型
31 (日)						
9/1 (月)						

〔実践&補習コース〕
最大48時間の個別指導
¥15,000-
※12時間以上必修

① 補習コース

購入したワークは、十分に活用する

- 基礎・練習問題が完成していないとき、参加義務となります
- ノルマとなる問題は、事前に一覧表でプリントで配布します
- 優先的にすべき問題を、塾長とカウンセリング時に選択します
- 月水金 14:30～17:20 に、OS形式で演習していきます

② 実践コース

直前対策より多く、過去良問を演習します

- 実力テストは範囲が広く、全てを仕上げるのは困難です
- 過去良問をすれば、出題されやすい傾向が見えてきます
- 例年、出題されている範囲と問題を確認します
- 基礎ができている上で、実践問題を解くことで効率が上がります
- 上位を志望する塾生が対象となります

講習ごとの英語単元

中1	夏期	代名詞
	冬期	現在進行形
中2	春期	形容詞・副詞
	夏期	不定詞・動名詞
	冬期	現在完了
中3	春期	前置詞・接続詞
	夏期	疑問詞 分詞 be動詞②

達成テスト 日程

中1		中2		中3	
		4/22	未来形	4/16	不定詞②
6/4	be動詞①	6/10	助動詞	6/11	基本文型
8/6	代名詞	8/19	不定詞・動名詞		疑問詞
10/29	一般動詞	10/28	比較	夏期講習	分詞
1/21	現在進行形	12/23	受動態		be動詞②
2/11	過去形	2/10	現在完了	11/29	関係代名詞
春期講習	形容詞・副詞	春期講習	前置詞・接続詞		

2025

中2生

夏期講習

◎ 補習コース 講義棟1F 14:30~17:30

ワークの下記ページを仕上げるのが、目標でありノルマとなります

英語	数学	理科	社会
8~19	12~14	20~47	地 10~27
28~39	15~20	82~97	歴 4~33
52~63	22~24		
66~67	26~28		
	32~36		
	38~40		
	42~44		

2025

中1生

夏期講習

◎ 補習コース 講義棟1F 14:30~17:30

ワークの下記ページを仕上げるのが、目標でありノルマとなります

英語	数学	理科	社会
4~9	8~12	8~29	地 8~31
10~19	14~18	72~82	歴 8~31
26~37	20~24		
48~57	26~28		
68~75	30~32		
	36~40		
	42~44		
	46~50		
	52~54		

2025

中2生

夏期講習

◎ 実践コース 講義棟1F 14:30~17:30

過去良問の下記番号を演習・理解して、「定期対策ノート」に整理します
解説は、タブレット（RAM3G）でスライドショーで見ることができます

英語		数学		理科		社会	
12161	過去形・書替	22146	図形の面積	52219	炭酸水素ナトリウム	41336	日本の気候区分
12166	過去形・問答文	22148	証明（自然数）	52211	水の電気分解	41348	エネルギー資源
12168	過去形・長文	22154	文字式の利用	52210	物質を表す記号	41349	日本の産業・貿易
12245	未来形・並べ替え	22233	電車の長さ・速さ	52223	化学変化と温度変化	42309	全国統一
12249	未来形・書替	22234	割合の問題	52218	(入試解説) 化学変化と質量	42319	江戸幕府の成立
12257	未来形・長文	22246	距離の問題			42320	江戸時代の産業

2025

中1生

夏期講習

◎ 実践コース 講義棟1F 14:30~17:30

過去良問の下記番号を演習・理解して、「定期対策ノート」に整理します
解説は、タブレット（RAM3G）でスライドショーで見ることができます

英語		数学		理科		社会	
11231	代名詞	21139	正負の数の相対性	51315	顕微鏡の使い方	41101	世界地図
11232	名詞	21140	乗除法 (小数・分数)	51313	植物の観察	41161	私達が住む世界
11331	疑問詞・挿入	21147	数の集合と四則計算	51316	葉の造りと働き	41222	アジア州
11331	疑問詞・質疑応答	21232	文字式の応用	51318	種子を作らない植物	42111	四大文明
11338	疑問詞・長文	21236	数量を表す式	52318	細胞の観察	41234	(入試解説) アメリカ・ヨーロッパ
11455	一般動詞・挿入	21239	規則性の問題	52317	脊椎動物と無脊椎動物		

教材がタブレットで閲覧できる

1 2年間に蓄えた膨大なデータは、受験生の宝の山です

教材	備考
学校テスト＋解答	平均点・正解率・塾での指導状況を表示
入試問題＋解説	大問ごとに見やすく編集しています
授業ノート（数英）	問題だけでなく、解答解説もカラーで表示
確認テスト（英数社理）	問題を閲覧可能、解答・解説はS3授業後に開示
漢字・英単語テスト	問題だけでなく、解答も閲覧可能
スライドショー解説	S2授業・対策・講習用に作成しています

自己新記録の実現

水・土・日の自習空間を最大限に活用する！

- 現高3生は、中3時に学年TOP10に常時2～3名いました
- 学年TOPレベルの完成度は、**努力レベルが相当に高い**です
- ほぼ毎週、休むことなく自習棟を活用していました
- 『過去良問』は、**全ての問題を3回以上**していました
- **学習習慣の継続**こそが、**自己新記録の必要条件**となります



ポイント還元

学期ごとの百人換算平均で算出します

結果順位	ポイント	備考
上位15%	3000P	自習棟使用权有り ※講習費のみ充当 ※一学期毎に清算
16~66%	10%以上UP⇒1500P	
67%未滿	〔成果が出ていない状況〕 →三者面談にて、来期の継続を検討します ⇒継続の場合、90分の有料個別指導(¥3,000-)を実施	

3. 教材紹介

- 英語 授業ノートSS解説
- 英語 達成テスト

事務長 神吉里恵

[11:15～11:20]

英語

授業ノートSS解説

中2 『不定詞・動名詞』 C-9

授業ノート

C-9

要点理解

演習

授業ノートのPoint を、色分け線引きします

◎理解できたら、例題を解きましょう！

授業ノート

C-9

要点理解

演習

10分

理解できない部分は、S2で質問します

◎時間が余れば、類題を演習します

C-9 【動名詞と不定詞の使い分け】

{ } 内を適当な形に変えて、和訳しなさい

(1) I want { study } English .

(2) He enjoyed { play } soccer .

(3) I stopped { watch } TV during lunch.

Point.

文法

動詞のほとんど

Point.

文法

動詞のほとんど → 不定詞でも動名詞でも可!

Point.

文法

動詞のほとんど → 不定詞でも動名詞でも可!

ex.) 私は、テニスを**すること**を好む

Point.

文法

動詞のほとんど → 不定詞でも動名詞でも可!

ex.) 私は、テニスを**すること**を好む

I like **to play** tennis.

Point.

文法

動詞のほとんど → 不定詞でも動名詞でも可!

ex.) 私は、テニスを**すること**を好む

I like **to play** tennis .

I like **playing** tennis .

Point.

文法

動詞のほとんど → 不定詞でも動名詞でも可!

ex.) 私は、テニスを**すること**を好む

I like **to play** tennis .

I like **playing** tennis .

意味は同じ!

○ 動名詞だけ

○ **動名詞だけ** →過去志向 ()

○ **動名詞だけ** → 過去志向（既にしたこと）

○ **動名詞だけ** → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	

○ **動名詞だけ** → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	

○ **動名詞だけ** → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める

ポイント

《stop + ~ing》と
《stop to ~》

- 動詞stopには動名詞(=動詞のing形)と不定詞(to+動詞の原形)のどちらも続くことがあるが、意味やはたらきが異なるので注意。

ポイント

《stop + ~ing》と
《stop to ~》

- 動詞stopには動名詞(=動詞のing形)と不定詞(to+動詞の原形)のどちらも続くことがあるが、意味やはたらきが異なるので注意。

■ 《stop ~ing》「~するのをやめる」

私たちは話すのをやめました。

We stopped **talking** .

└ 動名詞(stopの目的語)

ポイント

《stop + ~ing》と
《stop to ~》

- 動詞stopには動名詞(=動詞のing形)と不定詞(to+動詞の原形)のどちらも続くことがあるが、意味やはたらきが異なるので注意。

■ 《stop ~ing》「~するのをやめる」

私たちは話すのをやめました。

We stopped **talking** .

└─ 動名詞(stopの目的語)

■ 《stop to ~》「~するために立ち止まる」

私たちは話すために立ち止まりました。

We stopped **to talk** .

└─ 目的を表す不定詞(~するために)で, stopを修飾(stopの目的語ではない)

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める

※ stop + to 不定詞（**副詞的用法**）→

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める

※ stop + to 不定詞（**副詞的用法**）→ ~する**ために** **立ち止まる**

○ 動名詞だけ → 過去志向（既にしたこと）

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める → 名詞的用法

※ stop + to 不定詞 (**副詞的用法**) → ~する**ために** **立ち止まる**

○ 不定詞だけ

○ **不定詞だけ** → 未来志向 ()

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~	

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~	~することを 欲する

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~	~することを 欲する ⇒ ~したい

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む**

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む** ⇒ ~だといいなと思う



○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む** ⇒ ~だといいなと思う

need to ~

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む** ⇒ ~だといいなと思う

need to ~

~することを **必要とする**

○ **不定詞だけ** → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む** ⇒ ~だといいなと思う

need to ~

~することを **必要とする** ⇒ ~する必要がある

動名詞だけを伴う主な動詞

enjoy

～して楽しむ

finish

～し終える

stop

～するのをやめる

動名詞だけを伴う主な動詞

enjoy	～して楽しむ
finish	～し終える
stop	～するのをやめる

不定詞だけを伴う主な動詞

want	～したい
hope	～することを望む
need	～する必要がある

C-9 【動名詞と不定詞の使い分け】

{ } 内を適当な形に変えて、和訳しなさい

(1) I want { study } English .

(2) He enjoyed { play } soccer .

(3) I stopped { watch } TV during lunch.

(1) I want { study } English .

(1) I **want** { study } English .

動名詞だけを伴う主な動詞

enjoy	～して楽しむ
finish	～し終える
stop	～するのをやめる

不定詞だけを伴う主な動詞

want	～したい
hope	～することを望む
need	～する必要がある

(1) I **want** { study } English .

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

to study

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

to study

私は、英語を勉強することを 欲する

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

to study

私は、英語を勉強することを 欲する

.....
[意識]→

○ 不定詞だけ → 未来志向（これからすること）

want to ~

~することを **欲する** ⇒ ~したい

hope to ~

~することを **望む** ⇒ ~だといいなと思う

need to ~

~することを **必要とする** ⇒ ~する必要がある

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

to study

私は、英語を勉強することを 欲する

.....
[意識]→

不定詞のみ



(1) I **want** { study } English .

to study

私は、英語を勉強することを 欲する

.....
[意識]→勉強したい

(2) He enjoyed { play } soccer .

(2) He enjoyed { play } soccer .

動名詞だけを伴う主な動詞

enjoy

～して楽しむ

finish

～し終える

stop

～するのをやめる

不定詞だけを伴う主な動詞

want

～したい

hope

～することを望む

need

～する必要がある

(2) He enjoyed { play } soccer .

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

playing

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

playing

彼は、サッカーを**すること**を 楽しんだ

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

playing

彼は、サッカーをすることを楽しんだ

[意識]→

○ 動名詞だけ → 過去志向 (既にしたこと)

enjoy ~ing	~することを 楽しむ ⇒ ~して楽しむ
finish ~ing	~することを 終える ⇒ ~し終える
stop ~ing	~することを 止める → 名詞的用法

※ stop + to 不定詞 (**副詞的用法**) → ~する**ために** **立ち止まる**

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

playing

彼は、サッカーをすることを楽しんだ

[意識]→

動名詞のみ



(2) He **enjoyed** { play } soccer .

playing

彼は、サッカーを**すること**を楽しんだ

[意識]→して楽しんだ

(3) I stopped { watch } TV during lunch.

(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

ポイント

《stop + ~ing》と
《stop to ~》

- 動詞stopには動名詞(=動詞のing形)と不定詞(to+動詞の原形)のどちらも続くことがあるが、意味やはたらきが異なるので注意。

■ 《stop ~ing》「~するのをやめる」

私たちは話すのをやめました。

We stopped **talking** .

└ 動名詞(stopの目的語)

■ 《stop to ~》「~するために立ち止まる」

私たちは話すために立ち止まりました。

We stopped **to talk** .

└ 目的を表す不定詞(~するために)で、stopを修飾(stopの目的語ではない)

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

文が成立する方を選択!

動名詞 or 不定詞で、意味が違う!



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

watching

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

watching

私は、

テレビを見ることを やめた

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

watching

私は、昼食の間 テレビを見ることを やめた

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV during lunch.

watching

私は、昼食の間 テレビを見ることを やめた

※ 私は、 テレビを見るために立ち止まった

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV **during lunch.**

watching

私は、昼食の間 テレビを見ることを やめた

※ 私は、昼食の間 テレビを見るために立ち止まった

文が成立する方を選択！

動名詞 or 不定詞で、意味が違う！



(3) I **stopped** { watch } TV **during lunch.**

watching

私は、昼食の間 テレビを見ることを やめた

※ 私は、昼食の間 テレビを見るために立ち止まった ✕

{ } 内を適当な形に変えて、和訳しなさい

- (1) I want { study } English .
- (2) He enjoyed { play } soccer .
- (3) I stopped { watch } TV during lunch.

(1) to study 私は、英語を勉強したい

(2) playing 彼は、サッカーして楽しんだ

(3) watching 私は、昼食の間テレビを見ることをやめた

ポイント1 目的語が動名詞と不定詞 で意味が異なる動詞

- 目的語に動名詞と不定詞のどちらもとる動詞の中には、動名詞と不定詞では意味が異なるものがある。

ポイント1 目的語が動名詞と不定詞 で意味が異なる動詞

- 目的語に動名詞と不定詞のどちらもとる動詞の中には、動名詞と不定詞では意味が異なるものがある。

remember

I remember *buying* it.

私はそれを買ったことを覚えています。

⇒すでにしたことを覚えている

Remember *to buy* it.

忘れずにそれを買ってください。

⇒これからすることを覚えておく

ポイント1 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞

- 目的語に動名詞と不定詞のどちらもとる動詞の中には、動名詞と不定詞では意味が異なるものがある。

remember

I remember *buying* it.

私はそれを買ったことを覚えています。
⇒すでにしたことを覚えている

Remember *to buy* it.

忘れずにそれを買ってください。
⇒これからすることを覚えておく

forget

I forgot *buying* it.

私はそれを買ったことを覚えていませんでした。
⇒すでにしたことを忘れている

I forgot *to buy* it.

私はそれを買ってしまいました。
⇒し忘れる(=していない)

ポイント1 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞

- 目的語に動名詞と不定詞のどちらもとる動詞の中には、動名詞と不定詞では意味が異なるものがある。

remember

I remember *buying* it.

私はそれを買ったことを覚えています。
⇒すでにしたことを覚えている

Remember *to buy* it.

忘れずにそれを買ってください。
⇒これからすることを覚えておく

forget

I forgot *buying* it.

私はそれを買ったことを覚えていませんでした。
⇒すでにしたことを忘れている

I forgot *to buy* it.

私はそれを買ってしまいました。
⇒し忘れる(=していない)

try

I tried *opening* the door.

私はそのドアを(試しに)開けてみました。
⇒実際にちょっとやってみる

I tried *to open* the door.

私はそのドアを開けようと(努力)しました。
⇒しようと努力する(=できたかどうかは不明)